

中央公民館

## 佐倉地区の概要

佐倉地区は、京成電鉄軌道の北側の旧内郷村地区と南側の旧城下町地区とに大別される。

内郷地区は、宮前地区で宅地開発が進み、その他の地区は田畑が広がっている。また、印旛沼を北にのぞみ、佐倉草ぶえの丘、市民の森、岩名運動公園などの施設がある。

京成電鉄とＪＲ総武本線、鹿島川にはさまれた旧城下町地区は、未だに城下町当時の面影が所々に残っており、国立歴史民俗博物館、佐倉城跡、武家屋敷、順天堂記念館、平成１８年に国の重要文化財（建造物）に指定された旧堀田家住宅及び、庭園を含む一帯は「旧堀田正倫庭園」として平成２７年３月に国の名勝に指定されるなど、歴史と文化の環境に恵まれている。平成２８年４月には「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」として佐倉市、成田市、香取市、銚子市の四都市が「日本遺産」に認定された。また、城下町の面影を残す台地上に、市役所、裁判所、検察庁そして、佐倉図書館、市民体育館、市立美術館など公共施設が集中しており、商店街も形成している。

中央公民館は、この台地の南側の低地に佐倉保育園と並んで建っている。付近には、平成１１年３月に建設された千葉県印旛合同庁舎がある。ＪＲ佐倉駅、京成佐倉駅ともに徒歩１５～２０分、最寄りバス停から５分の場所に位置する。

佐倉地区の人口は平成３１年３月末日で２８，４２３人であり、昨年に比べ２２５人の減となっている。

### 佐倉地区のデータ

【令和２年３月末現在】

- 佐倉地区：面積 約２０．６㎢ （佐倉市：面積 １０３．６９㎢）
- 佐倉地区：住基人口 ２８，４２３人 （佐倉市：住基人口 １７４，６９５人）
- 佐倉地区：人口密度 １，３７９人/㎢ （佐倉市：人口密度 １，６８４人/㎢）

# 1. 公民館運営計画

---

---

## 運営方針

歴史のまち佐倉の生活・文化の向上と、ふるさと佐倉のまちづくりに携わる市民の連帯意識を高めるため、だれもが学習しやすい公民館、集会活動のよりどころとなる公民館、親睦を深める場となる公民館として生涯学習のねらいを達成すべく、社会教育活動の中心施設としてその役割を果たすことに努める。

## 努力目標

- 利用者に対して、快い適切な対応をするように努める。
- より多くの人に利用してもらうよう施設設備の提供に工夫をすると共に、安全管理に努める。
- 社会状況の変化を踏まえ、次代を見据えた学級・講座の充実に努める。
- 公民館に関係する各種団体との連携を図り、活動の支援に努める。

## 事業内容

### 1. 施設・備品の提供

地域住民各層の利用に応えるため、サービス業務の向上を図る。

#### (1) 施設の提供（団体、グループ単位）

- ① 開館時間 午前9時から午後9時まで。  
ただし、月曜日・祝日・夜間利用がない場合は、午後5時まで。
- ② 休館日 第2・第4月曜日、及び年末・年始（12月28日～1月4日）。

#### (2) 備品の提供（団体、グループ単位）

館外貸与できるもの  
机、椅子、拡声装置、視聴覚機器、視聴覚教材

### 2. 学級講座

学習機会の拡充と学習内容の充実に努めるため、学級講座の質的向上に努める。  
家庭教育講座、青少年教育講座、成人教育講座、佐倉市民カレッジ等の実施。

### 3. 団体育成事業

公民館利用グループ・サークル活動の育成と支援や、子ども会活動への支援、成人・高齢者グループの地域活動・ボランティア活動の支援を行う。

### 4. 広報事業

公民館の役割や各種文化行事等の情報提供。  
中央公民館だよりの発行、各種館外催物、各種ポスター等の掲示及びパンフレットの配布、公民館の役割や利用の仕方のパンフレット配布。

### 5. 展示事業

ロビー等の効果的活用を図る。  
利用者作品展、各種展示会の開催。

## 2. 公民館利用状況

### 年度別利用状況

区 分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用件数 (件)	6,546	6,265	5,930	5,364	4,720
利用人数 (人)	112,173	110,218	103,212	104,261	90,628
開館日数 (日)	335	333	333	333	318

### 令和元年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
大ホール	3,570	1,594	44.6%
研修室 1	3,556	1,532	43.1%
プレイルーム	3,556	604	17.0%
研修室 2	3,563	1,534	43.1%
研修室 3	3,556	1,381	38.8%
調理室	3,556	833	23.4%
和室	3,556	871	24.5%
会議室	3,704	1,847	49.9%
アトリエ	3,556	1,241	34.9%
工芸室	3,556	1,097	30.8%
学習室 1	3,556	1,916	53.9%
学習室 2	3,556	1,447	40.7%
学習室 3	3,704	1,898	51.2%

※市内の公民館は、令和 2 年 3 月 5 日（木）から 31 日（火）まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館した。

ただし中央公民館は、同年 3 月 16 日（月）まで確定申告の会場を提供し、同年 3 月 12 日（木）・26 日（木）にも運転免許証の講習会場を提供したため、それぞれの期間は一般利用は不可ながらも確定申告や免許更新等の必要のある市民等が入館可能であったことから「開館」とした。

なお、上記の事情により、施設によって利用可能回数の差異が生じている。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	2、3歳児親子運動教室	2、3歳児と保護者 15組	2/6 32人 2/13 26人 2/20 28人 2/27 中止	マッサージ、マット体操、手遊び、体力・全身運動等を通して健やかな体と豊かな感受性や好奇心を育んだ。また、同年齢の幼児の触れ合い、保護者同士の交流の場ともなった。
	親子で食育講座「かまどでごはん」	小学生と親 10組	3/14 中止	佐倉武家屋敷のかまどを使いお米を炊き、みそ汁を作り、試食することで、親子と一緒に体験し、交流する機会とする。
	春休み16ミリアニメ上映会	幼児～一般	3/29 中止	アニメ名作を16ミリフィルムにより上映する。
青少年教育	カブトムシ・キアゲハを紙でつくろう！	小学4年生以上 20人	7/26 24人	カブトムシとキアゲハの模写標本を紙で作製し、虫の仕組みを学ぶことで、佐倉の自然環境に興味を持つきっかけとなった。
	小学生夏休み昆虫観察会	小学生 15人	7/27 13人 8/3 13人 8/23 11人	身の回りにはいる小さな昆虫について講師の指導のもと、観察の仕方や記録の撮り方を学び、実際に野外観察を行った後感じたことや疑問に思ったことを発表しあった。
	夏休み子どもゼミナール	小学5年生から一般市民 15人	7/30 22人 8/2 19人 8/3 10人 8/17 20人 8/23 27人	宇宙について専門的な知識、経験をもつ宇宙アドバイザー協会の講師を招いて、宇宙飛行士、人工衛星についての講義や天体望遠鏡を使っての星空観察、ペットボトルロケットの作製をした。また、貸切バスでつくば市の筑波宇宙センターまで行き、宇宙に対する興味を深めた。
	佐倉市・女子美術大学連携協働事業「JOSHIBIワークショップ」	小学生 20人	8/22 22人	女子美術大学の教授・学生の指導により、紙粘土で光る土偶のお面を作った。
	ドキドキ縄文体験 勾玉づくり	小学生 20人	8/29 20人	千葉県博図公連携事業として行われる縄文文化体験事業「ドキドキ縄文体験」を実施。千葉県中央博物館職員との指導のもと勾玉づくりのワークショップを行った。
佐倉学	佐倉学講座「佐倉の文化」藍染体験	小学生 12人	8/27 16人	小学生を対象に「藍染体験」を実施。佐倉で昔から行われている「藍染め」の技法を学び、佐倉の自然や文化に対する関心を高めた。
	佐倉学講座 印旛沼「白鳥見学と野鳥観察会」	小学5年生～中学生 6人	2/29 中止	本笠（印西市）に飛来する白鳥の見学と印旛沼周辺の野鳥観察会。
夏休みなんでもチャレンジ	公民館を利用しているサークルが小学生を対象に日頃の学習の成果を披露し、自主的な学習活動の楽しさを伝えた。			
	花とあそぼう・いけばな教室	小学1～6年生	7/24 8人 7/25 15人	佐倉市華道連盟が指導。季節の花や草を使い、よい形になるいけ方や花の切り方を教えてもらいながらいけ花を作成した。
	日本舞踊の基本を楽しく学ぼう	小学1～6年生	7/28 5人 7/29 2人 7/30 9人	佐倉華踊会が指導。浴衣の着付けや扇の使い方、お辞儀の仕方や挨拶といったの例作法についても学んだ。高学年の児童がお手本となり、下級生に教える様子も見られた。
	絵手紙を描こう	小学1～6年生	7/28 9人 7/30 11人	佐倉城の辺地区社会福祉協議会が絵手紙の指導者を招いて実施。油性鉛筆や割りばしで描く技法を紹介。子ども達は完成した絵手紙にひとこと添え、お気に入りの一枚を発表し合った。
	佐倉こどもかるた	小学1～6年生	7/31 15人	佐倉こどもかるた子都手留会（しってるかい）が指導。かるたに描かれている名所や偉人等の説明を交えながらかるたを通して佐倉について学んだ。
	スクエアダンスに挑戦しよう！	小学1～6年生	8/2 6人	シャトー佐倉SDCが指導。音楽に合わせて、指示を聞きながら目まぐるしくフォーメーションを変えて踊る。ハイタッチを交えるなど世代間の交流を楽しみながら体験していた。
	和太鼓で遊ぼう！	小学1～3年生 4～6年生	8/2 11人 10人	和太鼓教室佐倉ドンドコ塾が指導。指導を受ける中で、子ども達はお互いの良いところを手本にしながら太鼓のたたき方を学んだ。最後には合奏を楽しめるまでになった。
	夏休み影絵教室	小学4～6年生	8/5 7人	影絵塾9が指導。影絵劇を観賞して、登場する人形を自分で作り、スクリーンに映して演技する体験をした。
子どもそば打ち体験教室	小学5・6年生	8/5 8人	そば打ち愛好会が指導。粉をこねるところからそばを切り、ゆでるところまで子ども達に体験させ、手作りのつゆで試食した。	

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
夏休みなんでもチャレンジ	子どもそば打ち体験教室	小学5・6年生	8/6 9人	C級グルメそば打ち迷人が指導。粉をこねるところからそばを切り、ゆでるところまで子ども達に体験させ、手作りのつゆで試食した。
	竹ひごで魚のモビールを作ろう	小学5・6年生	8/20, 22 9人	竹工芸友の会が指導。竹ひごを使い、魚のモビールを作った。各テーブルにそれぞれ講師がつき、竹ひごの扱い方を学んだ。
	ウッドクラフト「夏のムシ達」	小学3～6年生	8/25 9人	ボーイスカウト佐倉3団の指導。自然の木や葉っぱを使って昆虫達を作成した。
青少年教育	通学合宿	小学4～6年生	9/23～9/26 3泊4日 21人 (佐倉東小)	異年齢の子どもたちが親元を離れ、共同生活体験をすることにより、自主性・協調性などを高めた。また、地域の住人との交流も図り、明るい地域づくりの一助とした。  6/19 検討会会議 6/20 募集チラシ配布 7/ 5 募集締切(定員 21人/応募38人) 7/16 参加抽選会 9/ 4 参加者及び保護者説明会  ボランティア協力 千葉県立佐倉高等学校、千葉敬愛短期大学、佐倉市民カレッジ佐倉地区同窓会、公民館利用サークルふきのとう
	ファミリーコンサート	一般市民	7/14 260人	「誰もが楽しめるオーケストラ」をコンセプトに佐倉シヤルマン・ウインド・オーケストラと共催でファミリーコンサートを開催した。
	親子映画会	小学生及び一般	7/28 55人 8/27 134人 12/21 80人	第1弾は「タッドの大冒険」、第2弾は「グリーンチ」。第3弾は「ミニオンズ」を上映。親子で映画を見ることで、楽しみながら映像文化に親しむ機会を提供した。
	夏休み学習ルーム	小学生から一般市民まで	7/20～9/1 利用者 225人	夏休み期間中、学習室1を自主学習の場として提供した。(小学生36人、中学生138人、高校生16人、一般35人)
	たまねぎ染め体験	小学生 15人	12/21 5人	玉ねぎの皮を使った染色を学びながら作品を作る体験を通じて、子どもたち同士の交流を図った。
成人教育	おとなでも楽しい人工衛星・宇宙のおはなし	高校生以上 50人	8/3 27人	人工衛星・宇宙全般について高校生以上を対象に実施する講座。宇宙に関する教養を深め、学生には将来の進路の一つとしてJAXAの仕事に興味を持ってもらうことを図った。
	健康増進教室	成人 30人	10/5 39人 3/7 中止	佐倉ホワイエとの共催。第1回は「達成感を得ると脳は衰えない」のテーマで佐倉ホワイエの介護士、看護師の方を講師に認知症予防の講義や脳トレを実施した。
	地域づくり講座 “自力整体と笑いヨガ” 体とこころの元気を目指そう!	成人 40人	11/20 20人	地域人材による講習会を行い、地域へのつながりと興味を深める。今回は「自力整体と笑いヨガ」を地域の講師と一緒に楽しみながら実施した。
	講演会「チバベジから考える 野菜がつくる地域の未来のカたち」	成人 200人	3/15 中止	昨年の台風15号で被害を受けた農家を支援することから始まった“チバベジ”の活動について、地域住民に講演会で紹介をすることで、フードロス削減と農家支援の輪を広げる。
佐倉学	佐倉学講座 中世の臼井地域史 佐倉・城下町 新町周辺歴史散策	成人 講座 100人 散策 各20人	講座2/9 89人 散策3/8, 3/14 中止	中世臼井の地域史を学ぶ講座と佐倉地区の史跡散策(初心者向け)を行う。
	佐倉学講座 古今佐倉真佐子を歩く	成人 20人	11/2 17人	「古今佐倉真佐子」に記された場所を散策し、古くて新しい佐倉についての身近な発見をした。
	佐倉学講座 佐倉の文化 「古今佐倉真佐子」と渡辺善右衛門	成人 100人	3/22 中止	「古今佐倉真佐子」をテーマに、当時の人々の生活や文化を知る貴重な記録である同書の面白さを感じてもらい、読み始めるきっかけづくりを目的とする。
	いんば沼公開講座 いんば沼学・人材養成(生活環境課共催事業)	成人 各100人	6/1 53人 7/6 49人 8/3 45人 9/7 50人 10/5 49人 11/2 45人 12/7 40人	印旛沼環境基金が主催した、生活環境課との共催事業。佐倉市のシンボルでもある印旛沼の歴史・文化・自然環境等について学んだ。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容	
成人教育	佐倉市民カレッジ 《であい課程》 第1学年 第2学年 2年間の学習コース 《専攻課程》 第3学年 第4学年 2年間の学習コース (以下の4コース) あったか福祉コース ふるさと歴史コース さわやか情報コース ゆっくり元気コース	第1学年		高齢化社会の中で、市民が健康で生きがいを持ち、地域と連携をもちながら、住みよいまちづくりを考え、実践をとおした生涯学習の場とする。「であい課程」では、主に一般教養科目を学ぶ。その領域は、健康・家庭・生きがい・経済・佐倉の歴史・環境・市政・福祉・国際理解・仲間づくり等である。「専攻課程」は、福祉・歴史・情報・元気の4分野に分かれて行う専門別学習コースであり、卒業後の実践活動に役立たせるために、体験学習、話し合い、発表等の学習方法を取り入れている。公開講座、ミニセミナー等を拡充し、一般への学習機会を提供する。	
		成人 92人	5月～2月 61回		
		第2学年		成人 69人	5月～2月 65回
		第3学年			
		第4学年		成人 84人	5月～2月 41回
		第4学年		成人 90人	5月～2月 43回
	春の映画上映会「天国までの百マイル」	成人 300人	3/19 中止	映画を通して、映像文化に親しむとともに、公民館主催事業の案内を配布することで、来館者に公民館事業を知ってもらい、公民館利用者や事業参加者を増やすことを目的とする。	
コミュニティ事業	さくら学び塾(学びあい講座) 初歩の傾聴講座技術を学ぶ	成人 20人	11/9 15人	さくら学び塾(学びあい講座)として、市民公募による講師の企画に基づき開設。演習を中心に傾聴の初歩の取得を目指した。	
団体育成	佐倉地区子ども会育成会連絡協議会	加盟子ども会なし	活動休止	子ども会の育成者を養成し、子ども会同士の交流を図る。佐倉市子ども会育成連盟主催の中央交流フェスティバル等に参加する。	
	「佐倉民話を語るボランティア派遣事業」、「佐倉こどもかるた普及派遣事業」	児童	さくらっ古9校 1,137人 子都手留会16校 922人	佐倉に伝わる民話を題材とした語りを行うグループ「さくらっ古」と「佐倉こどもかるた子都手留会」を市内小学校等に派遣し、民話や佐倉こどもかるたを通じて郷土愛を育む。	
	中央公民館利用グループ懇談会	利用団体代表者約200団体	平成31年3/20 169団体	利用者団体の交流を図り、公民館活動の利用について懇談した。	
	調理室利用者懇談会	定期利用団体	6/12 14団体 12/11 14団体	調理室の清掃と備品の確認を行った。調理室の効果的利用方法を考えるとともに、懇談を通して利用サークル間の交流を図った。	
	もちよりカレーの日	公民館利用者	8/2 105食提供 ボランティア19人	中央公民館利用者や市民カレッジ生に食材の提供を呼びかけ、もちよった食材をもとにカレーをつくり来館者に無料で提供した。	
広報活動	中央公民館だよりじゅにあ	佐倉地区	年1回 1,850部	小学生向けに、主に夏休みに開催される公民館事業の募集を行った。	
	「なかま」	市民	毎月1回(12月まで) 奇数月隔月(1月から) 各回 1,500部	一般市民から広く原稿を募集し、カレッジ生を中心とした編集委員会により編集・校正をする。	
	ホームページ	市民	随時	中央公民館の主催事業等を掲載し、情報を提供する。	
	SNS	市民	随時	中央公民館の活動や施設の情報を発信する。	
視聴覚ライブラリー事業	佐倉市平和式典	市民	8/15 80人	毎年8月15日に行われる平和式典。中央公民館から音響設備の貸出のため職員2名が支援した。	
	16ミリ映写機点検事業	16ミリ映写機保有施設	11月 1回	各施設所有の16ミリ映写機を、老朽化に伴う上映使用時のトラブル防止のため、一括して点検を行う。	
	視聴覚機器貸出	登録団体	4月～3月 ソフト 106本 視聴者数 5,352人 機材貸出 442点	視聴覚ライブラリー所有機材・教材の貸出を行った。令和元年度は映像ソフト106本を貸し出し、延べ5,352人が観覧した。またプロジェクター、スクリーン、音響セット等を延べ442点を貸し出した。	

# 1. 家庭教育事業

## 2、3歳児親子運動教室「見て、考えて、ホップ・ステップ・RUN！」

- ①開設趣旨 運動を通して健やかな体と豊かな感受性や好奇心を育む。また、同年齢の幼児の触れ合い、保護者と保護者が交流する場として本講座を開設する。
- ②募集対象 2・3歳児と保護者 15組
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	2月6日（木） 10:00～11:30	マッサージ、視覚反射ゲーム、マット体操、バランス感覚の鍛錬、体力・全身運動	ニッポンランナーズ 佐伯 由香里 齊藤 太郎 中田 修弘
2	2月13日（木） 10:00～11:30	マッサージ、視覚反射ゲーム、マット体操、バランス感覚の鍛錬、体力・全身運動	ニッポンランナーズ 佐伯 由香里 齊藤 太郎 白川 美知代
3	2月20日（木） 10:00～11:30	マッサージ、視覚反射ゲーム、マット体操、バランス感覚の鍛錬、体力・全身運動	ニッポンランナーズ 佐伯 由香里 齊藤 太郎 白川 美知代
4	2月27日（木） 10:00～11:30	マッサージ、視覚反射ゲーム、マット体操、バランス感覚の鍛錬、体力・全身運動 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)	ニッポンランナーズ 佐伯 由香里 齊藤 太郎 中田 修弘

- ④講座を終えて この講座は、昨年度までの2、3歳児親子教室を見直し、これまでの読み聞かせやリトミック等の内容から、講師もニッポンランナーズのコーチ陣を迎え運動系を中心にした事業とした。家に閉じこもりがちな寒い時期に体を動かし、外遊びや家の中でも出来る親子体操を、回を重ねるごとにバージョンアップしていき、達成感をえられるように工夫した。

最終回にアンケートを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染予防拡大防止のため急遽中止となった。そのため数字としての値は得られなかったが、各回の様子から満足度は高かったこともうかがえた。今回、参加できなかった方が何組もいたため、来年度は全4回の教室を前半と後半の2回行っていきたい。

### 親子で食育講座「かまどでごはん」

①開設趣旨 本講座は、佐倉市の食育推進事業と男女共同参画事業のひとつに位置づけられているものである。佐倉武家屋敷旧但馬家のかまどでごはんを炊き、日本の食文化を学ぶ。また、佐倉産の食材のみ用いることで、佐倉の魅力を若い世代に知ってもらう機会とする。

②募集対象 小学3年生～6年生と保護者 10組20人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	3月14日（土） 10：00～13：00	武家屋敷のかまどでごはんを炊き、みそ汁を作る。 （新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）	千葉県立房総のむら技術員

## 2. 青少年教育事業

### 夏休み子どもゼミナール

①開設趣旨 宇宙業界に長年携わった専門家の方々を講師に招き、少人数制のゼミ形式の講座を開催することにより、佐倉市の将来を担う子ども達のコミュニケーションづくりの場を提供する。ロケット・人工衛星・宇宙飛行士・天体の4つに的を絞って「宇宙の4つのナゾ」に関わる講義を行う。また、筑波宇宙センター（JAXA）でのバス見学ツアーを実施し、実物の宇宙服や人工衛星などを、ガイドを交えて見学することで、より宇宙に関する興味を深める。

②募集対象 各講座おおむね小学5年生以上

ナゾ①：25人 ナゾ②：30人 ナゾ③：50人 ナゾ④：20人

エクストラ：30人

### ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月30日（火） 14：00～ 16：00	エピソードⅠ ナゾ① ロケットはなぜ飛ぶの？～ロケット工作をしよう～ 工作ロケットを圧力で飛ばすことによりロケットの構造と飛び方について楽しく学ぶ。	NPO法人宇宙アドバイザー協会副代表理事 大嶋 龍男
2	8月 2日（金） 10：00～ 11：30	エピソードⅠ ナゾ② ISS・宇宙飛行士について：宇宙飛行士になるにはどうしたらよいの？ 宇宙飛行士と宇宙飛行士を支える人々について講師自身の経験を中心にご講義いただき、宇宙業界に携わる可能性は誰にでもあるということを感じてもらう。	NPO法人宇宙アドバイザー協会代表 富永 和江
3	8月 3日（土） 10：00～ 11：30	エピソードⅠ ナゾ③ 人工衛星はどんな役割があるのかな？～宇宙から見る私たちの地球～ ロケットが宇宙へ運ぶもの“人工衛星”について、どんな人工衛星があるのか、その役割などを分かりやすく講義いただく。	NPO法人宇宙アドバイザー協会理事 三枝 博
4	8月17日（土） 19：00～ 20：30	エピソードⅡ ナゾ④ 天体望遠鏡で星はどのように見えるのかな？ 天体望遠鏡で星を実際に観察することで、星がどのように見えるのか学ぶ。	芳野 雅彦
5	8月23日（金） 8：00～ 17：00	エクストラ（番外編）筑波宇宙センターでガイド付き見学ツアーを実施する。	ガイド： NPO法人宇宙アドバイザー協会理事 三枝 博

④講座を終えて 昨年度に続いて熱心な児童が多かった。特に天体望遠鏡で星を観察す

る講座は毎年応募者が多く、参加した児童は保護者と一緒に星を観察することで、親子の関係も深まったと思われる。

各講義においては、ペットボトルロケットを工作し飛ばしたり、最近の人工衛星の話題について動画を使って説明したりしてわかりやすく、かつ楽しく学習できる内容であった。対象年齢は「おおむね小学5年生以上」であるが、幼児から中学2年生まで幅広い年齢層の参加があった。すべての講座で、保護者も参加可能な講座とし、保護者も一緒に楽しめる講義であった。

次に、今年度も和田公民館との共催事業として、星の観察（主に夏の大三角形）の会場を「和田ふるさと館」とした。周囲の自然に恵まれ、星もよく見えた天候であったため、参加者からの満足度は高く、また参加したいという感想が多かった。

また、貸切バスで筑波宇宙センターに行く「JAXA探検ツアー」を今年度も開催した。ツアー参加者限定の場所を見学したり、元JAXA職員によるスペースドームでの展示物の見学・説明を参加者が真剣に見聞きしていた。

どの講座も参加者の満足度は高く、「面白かった」という感想が8割を超えた。しかし工作や観察のように、参加型の講座は、参加希望者が多かったのに対し、講義形式の講座は昨年と比べて、参加者が少なかった。従って、次年度以降は講義形式を減らし、参加型の講座を増やすとともに、テーマを宇宙に限定せず幅広い分野での講座として作っていくことで、より満足度の高い講座を検討したい。

また、JAXA探検ツアーについては、一般道路を利用したため、現地の滞在時間が短く、スペースドームでの展示物の見学・説明の時間が少なかったように感じた。従って次年度以降は、高速道路を利用することで、現地での滞在時間を多く確保したい。

## JOSHIBIワークショップ

①開設趣旨 本事業は平成24年4月2日付けで締結された「佐倉市と学校法人女子美術大学との連携協働に関する協定書」に基づき実施する。参加児童は芸術を手段として自分の「考えていること」「感じていること」「伝えたいこと」を表現することを体験し、学生は現場での実践をととして芸術教育の意義を学ぶことをねらいとする。

②募集対象 小学3年生～6年生 20人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月22日（木） 13:30～16:00	光る土偶仮面をつくらう！	女子美術大学芸術学部アートプロデュース表現領域3年（監修：教授 南島 隆）

④講座を終えて 「こうほう佐倉」7月15日号、各公民館と佐倉小、内郷小、佐倉東小、白銀小へのチラシ配布を行った。応募者は26人。当日は22人が出席し、女子美術大生の指導のもと、紙粘土で土偶仮面をつくり、LEDライトで光るように仕上げた。

アンケートの結果、参加児童・保護者の満足度は高く、また低学年でも取り組やすく、なかなか進まない児童には学生や教授が直接指導することで、子供たちの意欲を高めた様子。また、当日の様子からも見て取れたが、大学生による作成指導、支援は参加児童や保護者からも好評であり、次回への期待が読み取れる。

## ファミリーコンサート

①開設趣旨 毎年夏季にコンサートを開催する「佐倉シャルマン・ウィンド・オーケストラ」との共催事業。今回は「誰もが楽しめるオーケストラ」をコンセプトとし、このコ

ンサートを機に若年層・ファミリー層に公民館を利用してもらうことも図る。

②募集対象 小学生～成人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月14日（日） 14：00～16：00	佐倉シャルマン・ウインド・オーケストラ」によるファミリーコンサートを開催	佐倉シャルマン・ウインド・オーケストラ

④講座を終えて 「誰もが楽しめるオーケストラ」をコンセプトに、気軽にオーケストラの演奏が聴ける場となることを目指した。

当日の来場者数は260人。座席として、椅子と最前列にはマットを用意した。マットは小さなおさんが利用し、1時間半ほどの演奏会もリラックスして鑑賞している様子が見られた。

コンサートは2部構成。本格的な楽曲から、なべやフライパンなどキッチン用品を使った演奏もあり、子どもから大人まで楽しめる内容となった。

生演奏を聴く経験は大人はもちろん子どもたちにとっても貴重な機会であり、今後も継続したい事業である。

### 小学生夏休み昆虫観察会

①開設趣旨 身の回りにはいる小さな昆虫について、講師の指導のもと観察の仕方や記録の撮り方を学ぶ。そして疑問に思ったことを調べたりすることで、身近な不思議を見つけ、自分なりの発見にたどり着く楽しさを体験してもらう。

②募集対象 小学生 15人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月27日（土） 10：00～12：00	講義 記録することの大切さ、野外観察の注意点等について	神奈川工科大学 倉西 良一
2	8月 3日（土） 10：00～12：00	野外観察 中央公民館敷地内の樹木、鏑木街区公園の昆虫を観察	神奈川工科大学 倉西 良一
3	8月23日（金） 10：00～12：00	観察結果のまとめ 昆虫観察会や夏休み中に観察した昆虫について、感想・疑問点・調べたこと等を発表	神奈川工科大学 倉西 良一

④講座を終えて 中央公民館周辺で野外観察をしてみたところ、カブトムシやクワガタをはじめ、たくさんの昆虫を観察することができた。身近な自然環境の豊かさを感じることができる講座であった。

### 佐倉学講座 「佐倉の文化」藍染体験

①開設趣旨 佐倉で昔から行われている「藍染」の技法を学び、植物から色をいただくことで周囲の自然と佐倉の文化に関心も持ってもらうことを目的とする。

②募集対象 小学生 12人

### ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月27日（火） 13:30～16:00	藍を使い、「生葉染め」「叩き染め」でハンカチを様々な模様染める。	和田はたおり保存会

- ④講座を終えて 「こうほう佐倉」8月1日号、佐倉地区小学校と市内施設へチラシの配布、公民館ホームページ及びSNS上で広報活動を行った。定員12人のところ応募者41名。講師が対応できる最大人数を検討し、当日は16人が参加した。参加者4人に対し講師2人体制で指導した。

絞り染めとは、絞った部分にだけ染液が付かないことで模様を作る方法だが、参加者はその仕組みと思い描く模様を再現するにはどうすれば良いか考え、熱心に作業に取り組んでいた。

本講座は公民館の敷地内で藍を栽培するところから始まった。藍が育つ様子は写真に収め、当日はパネルにして会場内に掲示をした。講座終了後、余った藍の茎を希望者に配布し、多くの参加者が持ち帰った。家庭で藍を栽培し、また来年藍染を楽しんでくれることを願う。

今後も佐倉の自然や受け継がれる文化に関心を持つきっかけとなる講座を展開していきたい。

### ドキドキ縄文体験 勾玉づくり

- ①開設趣旨 本物の縄文土器や石器をつかった縄文時代の解説を行い、石を砥石や紙やすりで削り古代の日本の装身具であった勾玉を作る。

- ②募集対象 小学生 20人

### ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月29日（木） 13:30～15:40	・縄文時代の解説 ・石を削り勾玉を作成 ・勾玉完成後に縄文をイメージしたキャラクターの絵を描く	千葉県立中央博物館講師

- ④講座を終えて 子どもたちは石を勾玉の形に削っていく作業に熱心に取り組んでいた。子ども向け事業の充実を図っていくためにも、こうした連携事業に取り組んでいきたい。

### 夏休みなんでもチャレンジ

- ①開設趣旨 公民館利用グループの学習に子どもたちを参加させることで、各グループの学習の成果を発揮し、子どもたちと地域グループの交流を目指す。

- ②募集対象 小学生（主に佐倉地区4小学校） 定員延べ214人

- ③開催期間 小学生の夏休み期間 全17回

### ④プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月24日（水）、 7月25日（木） 10:00～12:00	花とあそぼう・いけばな教室	佐倉市華道連盟

2	7月28日(日)、 7月29日(月)、 7月30日(火) 9:30~11:30	日本舞踊の基本を楽しく学ぼう	佐倉華踊会
3	7月28日(日)、 7月30日(火) 13:30~15:30	絵手紙を描こう	佐倉城の辺地区社会福祉協議会
4	7月31日(水) 10:00~11:30	佐倉こどもかるた	佐倉こどもかるた子都手留会
5	8月2日(金) 9:30~10:30 11:00~12:00	和太鼓で遊ぼう! ドンドコしよう!	和太鼓教室佐倉ドンドコ塾
6	8月2日(金) 13:00~14:00	スクエアダンスに挑戦しよう!	シャトー佐倉SDC
7	8月5日(月) 9:00~13:00	子どもそば打ち体験教室	そば打ち愛好会
8	8月5日(月) 10:00~15:00	夏休み影絵教室	影絵塾9
9	8月6日(火) 9:30~12:30	子どもそば打ち体験教室	C級グルメそば打ち迷人
10	8月20日(月)、 8月22日(木) 9:30~12:00	竹ひごで魚のモビールを作ろう	竹工芸友の会
11	8月25日(日) 10:00~12:00	ウッドクラフト「夏のムシ達」	ボーイスカウト佐倉第3団

⑤講座を終えて 公民館利用グループの協力を得て、11団体の公民館利用グループにより実施した。今年度は全体で延べ152人の参加があった。講師役を務める公民館利用グループにとっても、子どもたちとの交流は新鮮な気持ちで活動することのできる貴重な体験となっている。

### カブトムシ・キアゲハを紙でつくろう!

①開設趣旨 模写標本の作製をして昆虫の生態等を学び、身近な自然環境に興味を持ってもらう。

②募集対象 小学4年生以上 20人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	7月26日(金) 13:00~17:00	カブトムシとキアゲハを紙で作製	元千葉敬愛短期大学学長 堀田 和弘

④講座を終えて 昆虫の特性や構造について学んだ後、カブトムシとその次にキアゲハを紙で作製するという順序に進めた。受講者は、小学生だけでなく保護者や成人も参加し、長時間、集中して作製に取り組んでいた。

講師が紙で作成するキアゲハは非常に精緻かつ複雑なものであり、カブトムシだけではなくキアゲハも完成させるには時間がかかると考え、今年度は最大4時間を予定したが、キアゲハの作製を途中で断念した参加者が数人いた。

次年度以降、開催するならば、カブトムシは継続として、もう1つはキアゲハより構造が単純な昆虫を講師と検討する必要がある。

## 通学合宿

①開設趣旨 小学4年生～6年生が自宅を離れて集団生活を行い、生活体験をとおして「お互いの立場や役割を理解し、協力し合う心を育むこと」、「日常生活に必要な生活技能を習得すること」を目的とする。また、地域の方々が子どもの生活体験活動に関わることにより、地域のつながりを深め、地域の教育力のさらなる向上を目指し、併せて親が一定期間、子どもと離れて生活することで、日頃の親子関係を見直し、家庭の教育力の向上を目指す。

②募集対象 佐倉東小学校4年生～6年生 21人

③プログラム

回	実施日（曜日）	スケジュール	ボランティア協力
1	9月23日 （月・祝）～ 9月26日（木）	開講式・閉講式 献立決め・買物・朝食・夕食（調理、後片付け）・洗濯・入浴・清掃	千葉敬愛短期大学、千葉県立佐倉高等学校、佐倉市民カレッジ佐倉地区同窓会、公民館利用サークル「ふきのとう」

④講座を終えて 千葉県立佐倉高等学校セミナーハウスにて実施。佐倉東小学校の通学合宿では、児童21人募集のところ38人の応募があったため、抽選を実施し21人で通学合宿を実施した。当事業においては、千葉敬愛短期大学の学生6人と市民カレッジ佐倉地区同窓会をはじめ、延べ20人のボランティアの方々に参加いただき、登下校の付き添い、夕食の調理補助をしていただいた。

通学合宿期間中は、児童達が班毎に、約30人分の朝食・夕食の献立決めから、買い物、調理、盛付け片付けまでを行った。また、掃除、洗濯、宿題を毎日こなし、普段通り学校に通った。

身の回りのことは全て自分たちで行う。そのような環境のなか、児童はわからないことを自分の言葉で説明し、周囲の人に聞くことができていた。これは学生カウンセラーが手取り足取り助けてしまうのではなく、考えるきっかけを与えてくれたおかげであると言える。

また、高学年の児童が意識的に班を引っ張ろうとしている様子が見られ、共同生活ならではの経験ができたのではないかと思う。

今後も公民館として、地域の課題を解決する事業にすべく内容については随時見直しを重ねていく。

## たまねぎ染め体験

①開設趣旨 身近な材料（たまねぎの皮）を使った衣類の染色という体験を通じて、子どもたち同士の交流を図る。

②募集対象 小学4年生～6年生 15人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月21日（土） 13:00～16:00	たまねぎの皮を使い、Tシャツを様々な模様染める。	森林インストラクター 井形 啓己

④講座を終えて 「こうほう佐倉」12月1日号、市内小学校と幼稚園へチラシの配布、公民館SNSにより参加者を募った。当日の参加者は5人。

Tシャツに絞りを付ける作業では、輪ゴムをきつく縛る作業に苦戦しながらもデザインを考え、参加者全員熱心に取り組んでいた。玉ねぎの皮を煮出す作業では皮から出る色に驚いており、皆で鍋を覗き込む様子が見られた。

今回、参加者の募集に苦慮した。広報活動として「こうほう佐倉」に掲載をしているが、最近では新聞を購読していない家庭が多く、今後はSNSを使った周知方法を強化したい。

**佐倉学講座 印旛沼「白鳥見学と野鳥観察会」**

①開設趣旨 対象となる小・中学生に、野鳥や印旛沼に関心を持っていただくきっかけとするため、印旛沼の野鳥観察会及び本埜の白鳥見学を行う。

②募集対象 佐倉市在住の小学5年生～中学生 6人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	2月29日（土） 8:00～12:00	本埜の白鳥見学及び印旛沼の野鳥観察 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)	日本野鳥の会 浅野 俊雄

### 3. 成人教育事業

#### 地域づくり講座

- ①開設趣旨 地域において、健康づくりの活動で活躍している人材を講師として招いて健康体操を実施し、地域住民の健康増進を図り、仲間づくり、地域づくりにつなげる。
- ②募集対象 成人 40人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月20日（水） 10:00～12:00	“自力整体と笑いヨガ”体と こころの元気を目指そう！	自力整体ナビゲーター 秋田 美智子

- ④講座を終えて 日常生活でも実施しやすく健康維持に役立てることができ、満足度の高い講座であった。また、昨年参加してくれた方が、この講座の後、秋田講師の地域での講習会に継続して参加しているという方もいた。このような方が今後も増え、自身また家族そして地域で、健康に対する関心が広がることを期待したい。

#### 健康増進教室

- ①開設趣旨 高齢者が、介護が必要な状態になることをできる限り予防し、自立した自分らしい生活を営むようにするため、地域の諸団体と連携をし、介護予防に関する心身の健康に必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資することを目的とする。
- ②募集対象 成人 30人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月 5日（土） 13:30～15:30	講演「達成感を得ると脳は衰えない」～今すぐ始めよう！！ 認知症予防～	公益財団法人日産厚生会 介護老人保健施設佐倉ホワイエ
2	3月 7日（土） 13:30～15:30	「理学療法士から学ぶ楽々運動習慣」～要介護にならない体力づくり～ (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)	公益財団法人日産厚生会 介護老人保健施設佐倉ホワイエ

- ④講座を終えて 公益財団法人日産厚生会介護老人保健施設佐倉ホワイエとの共催の講座。（10月5日の講座について）前半の講演から参加者に問いかけながら進めたことで、活発な意見交換の場となり、場の雰囲気も和み多くの意見が出された。また後半の懇談会でも、活発に意見、質問が出て、演題に関する理解を深めるとともに、参加者の交流も深まった。

#### おとなでも楽しい人工衛星・宇宙のおはなし

- ①開設趣旨 本講座は、小学5年生以上を対象とした当館主催の青少年教育事業「夏休み子どもゼミナール」の講座のうち、人工衛星・宇宙全般について高校生以上の一般を対象として実施する講座である。謎の多い宇宙や人工衛星について学ぶことで宇宙に関する教養を深めて知的好奇心を満たすこと、また、学生には将来の進路設計の一つとしてJAXAの仕事について興味を持ってもらうことを目的としている。

②募集対象 成人（高校生以上） 50人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月 3日（土） 14:00～16:00	人工衛星の役割、その他宇宙に関すること全般	NPO法人宇宙アドバイザー協会理事 三枝 博

④講座を終えて 参加者は高校生から70歳代まで幅広い年齢層が参加し、講義終了後の質疑応答では多くの参加者から質問があり、興味の高さが感じられた。

しかし、参加者の70%以上が60歳以上の参加者であり、参加者の年齢層が偏ってしまった。高校生、大学生等の学生や20代～50代の、普段公民館の利用が少ない年齢層の参加者を増やすため、市内だけでなく市外の高校や短大、大学等にチラシを配布したり、市内の商業施設に協力をお願いし、ポスターの掲示を依頼したりして周知することで、若年者の参加者を増やしたい。

### 講演会「チバベジから考える 野菜がつくる地域の未来のカタチ」

①開設趣旨 令和元年の台風15号・台風19号・10月の豪雨により、千葉県を中心とした地域が甚大な被害を受けた。

その中で、災害で被害を受けた野菜を救う（地域のつながりにより野菜を販売し、農家の支援につなげる）「チバベジ」というプロジェクトが発足した。この活動は、現在では被災した農家の支援だけではなく、市場に出すことができない野菜を救うフードロス解消を目指す活動に発展している。

本事業では、「チバベジ」の活動内容を通して、地域のつながりを通じた農業の支援やフードロスの取り組みについて考えていくことを目的とする講演会等を開催する。

②募集対象 成人 200人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	3月15日（日） 13:00～15:00	・農家支援やフードロスへの取り組みについての講演会 ・野菜及び試食料理の販売 （新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）	“有機の里づくり” 千葉県団体連絡会事務局 長（一般社団法人野菜がつくる未来のカタチ顧問） 徳江 倫明

### 佐倉学講座 中世の臼井地域史、佐倉・城下町 新町周辺歴史散策

①開設趣旨 平安時代中期（中世）の臼井の歴史に焦点を当て、講師がフィールドワークによって得た知識と豊富な歴史的資料などから解説を行う座学による講座と、佐倉の都市計画を担った、佐倉城と城下町に関連する史跡・建造物について、新町周辺を講師と共に散策しながら学習する講座である。

どちらも佐倉の歴史に興味があり、初心者でも学びやすい講座であるため、佐倉の歴史について、興味をより深めることを目的とする講座である。

②募集対象 散策：成人 各20人

講演：成人 100人

### ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	2月 9日（日） 10：30～12：30	講演「中世の臼井地域史」	酒々井町文化財審 議会会長 高橋 健一
2	3月 8日（日） 13：30～15：30	新町周辺の散策 （新型コロナウイルス感染症拡 大防止のため中止）	NPO法人 佐倉一里塚
3	3月14日（土） 13：30～15：30	新町周辺の散策 （新型コロナウイルス感染症拡 大防止のため中止）	NPO法人 佐倉一里塚

- ④講座を終えて 今年度は中世の臼井の歴史について講義を行った。毎年、講師の豊富な知識と歴史的資料を使用しての講義のため、定員を超える応募がある人気の講座である。参加者アンケートにおいても、90%以上が満足・やや満足の回答をしている。しかし、配布資料が豊富であるため、時間内に講義が終わらず、2時間の講義時間だけでは短いという感想があった。2回に分けて実施するか、講義時間を増やして実施するか、講師と検討が必要だと感じた。

### 佐倉学講座 「古今佐倉真佐子」と渡辺善右衛門

- ①開設趣旨 かつての佐倉藩士が絵図に添え書き綴った「古今佐倉真佐子」をテーマに、当時の人々の生活や文化を知る貴重な記録である「古今佐倉真佐子」の面白さを感じてもらうこと、さらには「古今佐倉真佐子」を読み始めるきっかけづくりになることを目的とする。
- ②募集対象 成人 100人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	3月22日（日） 10：00～12：00	約300年前に書かれた「古今佐倉真佐子」から、当時の佐倉の様子や風俗を学ぶ。 （新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止）	元佐倉市文化財審 議会委員 外山 信司

### いんば沼公開講座 ーいんば沼学・人材養成ー

- ①開設趣旨 本講座は、公益財団法人印旛沼環境基金が主催し、佐倉市生活環境課と当館が共催する事業であり、平成17年度から継続して開催している。当館は各開催日において参加者の受付・資料配布・案内等を担当し、佐倉市民カレッジふるさと歴史コースの前年度卒業生にボランティアとして協力していただいている。
- 令和元年度の本講座は、印旛沼について広範な知識を習得し、印旛沼流域住民の啓発に寄与できる人材を養成することを目的として、印旛沼の歴史・文化・環境・生きものに関する7回の講座が行われた。
- ②募集対象 成人 各100人

### ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	6月 1日（土） 14:00～16:30	江戸期の掘割工事 ・対談 ※	元成田高校教諭 鏑木 行廣
2	7月 6日（土） 14:00～16:30	明治～昭和期における洪水と 対策・開発	農学博士、元（公財）印旛沼環境基金 本橋 敬之助
3	8月 3日（土） 14:00～16:30	文化 ・対談 ※	佐倉市史編さん委員 内田 儀久
4	9月 7日（土） 14:00～16:30	水環境の変遷と原因	農学博士、元（公財）印旛沼環境基金 本橋 敬之助
5	10月 5日（土） 14:00～16:30	鳥たち —印旛沼は快適な渡 りの空路— ・対談 ※	（公財）日本野鳥の 会会員 浅野 俊雄
6	11月 2日（土） 14:00～16:30	魚たち ・対談 ※	千葉県水産総合研究 センター 内水面水 産研究所主任上席研 究員 平田 淳一
7	12月 7日（土） 14:00～16:30	水草たち ・対談 ※	理学博士、千葉県立 中央博物館生態・環 境研究部環境教育研 究科長 林 紀男

※ 講師による講演に続き、各講師と本橋敬之助氏による対談を行った。

- ④講座を終えて どの講座も、それぞれの分野で印旛沼に興味を持った参加者が多数集まった。各講師による様々なジャンルから観た印旛沼の変遷や実情、課題などの興味深い講演が続き、印旛沼に関して幅広い知識と理解を得ることができる貴重な事業であったと思う。本橋氏との対談では、各講師に本橋氏が様々な質問をし、それに各講師が答えることが主な形式のようであり、しばしば予定時間を超えるほど熱心な議論がなされていた。なお、全7回参加した人には、印旛沼環境基金より修了証と記念品が贈られた。

#### 佐倉学講座 古今佐倉真佐子を歩く

- ①開設趣旨 江戸時代中期、佐倉の領主であった稲葉氏の家臣渡辺善右衛門が記した「古今佐倉真佐子」には、当時の佐倉城とその城下町の様子が描かれている。この「古今佐倉真佐子」に記述された、作者が見聞した当時の佐倉城があった場所を参加者が実際に歩き、当時の佐倉に想いを馳せ、その歴史を学ぶことによって、都市としての佐倉市の起源を知り、「歴史のまち佐倉」への愛着を深める。
- ②募集対象 成人 20人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月 2日（土） 9：00～12：00	散策経路：市民体育館→大手門跡→広小路→三の門→二の門→一の門→本丸→台所門→二の丸→椎木門→椎木曲輪→歴博駐車場（お手洗休憩）→愛宕神社跡→田町門→ゴケ曲輪→杉坂・七曲り坂下→姥ヶ池（ため池）→城址公園自由広場	NPO法人まちづくり支援ネットワーク佐倉理事長 福山 重雄

④講座を終えて 平成25年度から実施している事業で、今年度で7回目となる。

「古今佐倉真佐子」に記述された場所を散策し、時折、一の門跡や本丸跡・台所門跡など要所で立ち止まり、講師がその当時の様子を「古今佐倉真佐子」の内容と関連しながらお話をされた。参加者は、講師のお話に熱心に聞き入り、講師へ質問をされた方もいた。実際に「非常に詳しい説明で（参加者に配布された）資料も素晴らしかった」旨の感想を持った参加者もいた。

## 4. 高齢者教育事業

### 四年制高齢者大学校「佐倉市民カレッジ」

#### 1. 開設までの経緯

中央公民館では、年々増加する高齢者が、社会の変化とともに歩み、自己の能力を伸ばし社会活動へ参加し充実した生き方ができるよう、昭和53年5月に「佐倉市高齢者短期大学校」(以下短大)を開設した。短大が数年経過すると学生の学習意欲が高まり、卒業した学生からさらに学びたいという希望が生まれ、短大6期生より自主的に2年間の学習を行う「生きがい学園」が誕生した。また、短大生たちの中で4年間続けて学ぶことの意義が認識され、短大の学習内容のひとつである「市長への提言」にて「高齢者のための四年制の大学校の設置」という提言がなされた。そして、公民館運営審議会委員、福祉関係有識者、短大卒業生を含めた「高齢者の望ましい姿を考える会」が発足し、四年制大学校の設置の概要と方向性として、地域活動の実践、郷土佐倉を愛する心の育成、40歳以上への学習機会の提供などが示された。

このような経緯を踏まえて、公民館棟に接続して四年制大学校の専用校舎を建設し、「佐倉市民カレッジ」という名称のもと平成4年5月に開設した。初年度は40歳以上60歳未満の20人を含む第1学年100人、短大の卒業生が編入した第3学年96人の2つの学年によりスタートした。そして、平成5年度より新1年生と短大の編入生である新3年生を含めた4学年が揃い、本格的な四年制大学校としての歩みを始めた。

#### 2. 開設の趣旨

佐倉市民カレッジは、高齢化社会(現在は超高齢社会)の中で、市民が健康で生きがいを持ち、地域との連携をもちながら住みよいまちづくりを考え、実践をとおして生涯学習のできる場となるよう開設されている。

また、佐倉市民カレッジ(以下、市民カレッジという。)では高齢者のみならず、高齢準備期である40歳代からの人にも学習の機会を提供し、高齢者と互いに学び、支え合うことを大切なねらいとしている。

#### 3. 入学対象・定員

##### (1) 入学対象者

- ①佐倉市に在住する40歳以上で、4年間継続して通学できる人
- ②積極的に自主学習ができる人
- ③卒業後は地域活動に積極的に参加できる人

##### (2) 定員：100人(先着順)

なお、令和元年度の応募・入学状況は以下のとおりである。

募集学年	募集定員	応募数	入学者数
第1学年	60歳以上 80人	94人	91人
	40歳から59歳まで 10人	2人	2人
	計 100人	計 96人	計 93人

※令和元年度の学生数

学 年	クラス コース	入学・進級者		修了・卒業者	
		人 数	小 計	人 数	小 計
第1学年	1 組	47	93	47	92
	2 組	46		45	
第2学年	1 組	35	70	35	69
	2 組	35		34	
第3学年	福 祉	22	84	22	84
	歴 史	20		20	
	情 報	20		20	
	元 気	22		22	
第4学年	福 祉	25	90	25	90
	歴 史	27		27	
	情 報	21		21	
	元 気	17		17	
計			337		335

#### 4. 佐倉市民カレッジの学習内容

##### (1) 「であい課程」の学習

市民カレッジの学習期間は4年間であるが、その前半の2年間は「であい課程」である。主に一般教養として、佐倉の歴史、文化、健康、家庭、生きがい、法律、環境、市政、福祉、経済等の広い分野を学び、共に学ぶ仲間をつくる。また、「であい課程」では、今までの生活になかった自分とであい、仲間とであい、地域とであう中で、新たな生きがいを見つけることを学習のねらいとしている。

「であい課程」2年間の学習日数は約70日で、約126単位に及ぶ。その学習形態は講義形式のほか、話し合い、身近な公共施設などについて学ぶ市内めぐり、いくつかのグループに分かれ、テーマを設定してその内容について討議し、代表者が発表するグループ発表、また個人発表、健康運動などの実習などと様々である。このほか、学生が自ら考え、自己責任において行う地域活動の自己申告取得単位制度を設けている。

「であい課程」1年では、「私の生きがい」をどのようなものに求めているか、何が生きがいになっているのか等自分の生きがいについて考え、お互いに発表し合って相互理解を深め、文集「私の生きがい」にまとめる課題がある。

2年の「市政を学ぶ」の学習テーマでは、実際に市政に携わっている市役所の職員等を講師として招き、市民公益活動の推進、基本計画と財政、環境と環境保全、福祉と健康、教育施策「佐倉学」等について学習する。それをもとに、個々に自分の考えるまちづくり構想をもち、各グループに分かれて実践活動を行い、その成果を「まちづくり実践報告会」で発表した。一連の学習の過程で、個々に市政についての理解を深めるのが大きなねらいである。

具体的には、千葉大学大学院准教授による「住民参加のまちづくり」では付せんを利用して意見集約する手法の体験、千葉地方検察庁事務官による「裁判員制度について」では模擬裁判の講義を実施している。

##### (2) 「専攻課程」の学習

3年生からの「専攻課程」では、講義と実践をとおして、卒業後も地域で生き生きと活動ができるようになることを目標として設置している。

また、他コース、他学年の講義を聴く聴講制度、さらに地域活動をすることで単位を取得する自己申告取得単位制度を設け、学生が自主的に学習できる体制を整えている。「専攻課程」には4つのコースを設けている。学習日数は2年間で40日程度、約84単位に及ぶ。コースの名称は「あったか福祉コース」「ふるさと歴史コース」「さわやか情報コース」「ゆっくり元気コース」である。

#### ①「あったか福祉コース」

社会福祉全般の理論の学習や実習を通して、福祉活動を考え実践できることを主眼としている。3年生では、障害福祉、高齢者福祉、福祉サービスなどの福祉全般に関する知識や、車いすの操作方法、視覚障害者の歩行誘導などの障害者との基本的な接し方を学ぶ。

4年生では3年時の学習に加え、講義で福祉関連の知識を広げるとともに、佐倉ホワイエでの傾聴の実習や、自分たちが学んだ介護技術を他コースの生徒に教える「学び合い学習」で、実践的な学習にも取り組んでいる。

「傾聴」をテーマとした学習は「他を認める」「話を聞く」「話をする」という、人と人の交流の基本を学び、人が地域社会を構成していく中で必要な「コミュニティ」形成の原点を学ぶことである。これは市民カレッジ学習の基本である「地域づくり」を根本から学んでいくことにつながると考える。

#### ②「ふるさと歴史コース」

郷土佐倉の歴史、先覚者、歴史的町並みについて学び、郷土佐倉を愛する心を育てていく。その内容は講義形式の授業を受けるだけでなく、自主的にテーマを設定して研究レポートを作成し、発表する主体的な学習を行っており、さらに、今後の地域活動につながるよう、他コースに佐倉の史跡を案内して教えるという「学び合い学習」を行っている。

現在、卒業生による「歴史ボランティア」グループが結成されており、歴史コースでの史跡散策案内や学習補助をボランティアで行っている。

#### ③「さわやか情報コース」

デジタルデバイスと言われる情報格差を埋めると同時に、デジタル技術を使用した情報発信を学ぶことで地域の情報の共有化を進めることを目的として、様々な学習を行っている。

佐倉市の情報施策や、情報化社会一般の現状についての講義を聴くほか、情報を伝達する機器を利用して、自主的に地域活動ができるようになるために、3年生では基礎からのパソコン実習、「市民カレッジ情報紙」の作成を、4年生ではパソコンの学習成果を活かしたイベントの企画・実施や、撮影実習を行っている。また、地域活動における名簿作りや、会計資料作成に役立つように表計算ソフトの講義も行っている。また学習日以外の、パソコン自主学習も盛んである。

そのほか、佐倉市の情報ネットワークの拠点である広域高速ネット296スタジオを見学し、高度情報化しつつある地域の現状についての理解を深める学習も行う。

#### ④「ゆっくり元気コース」

自分の健康管理を自分で行うために必要な知識の習得を講義・実習をとおして行う。3年生では「歩くこと」を健康づくりの基本と考え、ウォークラリーのコースをカレッジ生が自主的に作成する。作成されたコースが市民カレッジや地域の行事に活用されることにより市民カレッジ生の地域参画が期待される。その他、生活習慣病に対する理解

と予防、地域ぐるみの健康づくりなどについて学ぶ。さらに、リズム体操や太極拳、ヨガなどの実習をとおして、自分に合った健康づくりを発見する。

4年生では、実践活動と今までの主体的な学習の過程や成果を通じて健康の維持と地域活動への導入を図る。また、各種スポーツイベントに参加し、多様な健康づくり、レクリエーション等への理解を深めるとともに事業の企画運営を考察する。そのほか、健康づくりに関する今後の自分たちの活動について話し合う学習も行っている。

「専攻課程」の学習のまとめとして、それぞれのコースで学習したことを他に伝え・教えることで「学び」を一層深めていく時間として「学び合い学習」を行った。

また「学んだことを活かす」というテーマでそれぞれのコース内で個人発表や話し合いを行い、そして、各コースの代表者による意見発表が行われた。

カレッジでの学習成果や、現在自分が行っている地域活動を紹介する中で、今後の自分の高齢者としての生き方について、長年蓄積した豊かな知識と経験から意見を発表する。それをいかに実践していくかが、市民カレッジを卒業してからの課題となる。

## 5. 佐倉市民カレッジの学習の特色

市民カレッジでは、学習の質を高め、より専門的な学習を行っていくために、他の機関・施設の協力を得て学習を展開している。国立歴史民俗博物館、千葉地方検察庁、佐倉警察署、千葉県立中央博物館、広域高速ネット296、順天堂大学、NPOニッポンランナーズ、東京情報大学、福祉施設などから講師派遣・実習・見学の協力をいただいている。

また、これらを含めた令和元年度の主な校外学習は、以下のとおりである。

### ①1年 市内めぐり

6月5日、6月12日にクラス別にそれぞれ実施した。佐倉市・酒々井リサイクル文化センター・和田ふるさと館歴史民俗資料室など市内外の様々な施設を見学してまわった。また、昼食時には川村記念美術館庭園の散策等を行った。リサイクル文化センターではごみの処理について講義を受け、カレッジ生からも活発な質問が多くあった。和田ふるさと館では「はたおり保存会」が開催される「はたおり体験」を行った。体験により貴重な活動内容について見識を深めたと言える。佐倉市について理解を深めることができ、特にこれまで知る機会がなかった地域について理解を深めることができたとの感想がカレッジ生より多く寄せられた。

②専攻課程各コースの校外学習

3 学年	5月31日	歴史	大佐倉歴史散策
	6月7日	元気	ウォークラリー
	6月13日	元気	イタリア文化とサッカーを学ぶ（岩名運動公園）
	6月14日	福祉	佐倉ホワイエ見学・体験
	6月21日	福祉	千葉県立千葉盲学校・体験
	6月28日	情報	東京情報大学 施設見学と講義
	6月28日	歴史	臼井の歴史散策
	9月13日	情報	広域高速ネット296スタジオ見学
	9月27日	歴史	佐倉地区（城址公園）の歴史散策
	9月27日	福祉	国際福祉機器展見学（東京ビッグサイト）
	10月11日	歴史	成田山の歴史を学ぶ（散策）
	11月8日	元気	ウォークラリーコースを作ろう
	11月22日	福祉	特別養護老人ホーム佐倉白翠園の見学、体験
	11月22日	歴史	志津の歴史散策
	1月24日	福祉	佐倉ホワイエ体験学習
4 学年	5月23日	歴史	新町の歴史散策
	6月13日	元気	イタリア文化とサッカーを学ぶ（岩名運動公園）
	6月20日	元気	ターゲットバードゴルフ（佐倉市ターゲットバードゴルフ場）
	6月20日	福祉	木の宮学園見学・講義
	7月11日	歴史	佐原のまちづくりを学ぶ（散策）
	9月5日	元気	都市近郊の野鳥の生態（佐倉城址公園）
	9月12日	情報	情報発信の現場を見に行こう（読売新聞東京本社ほか）
	9月26日	4コース 合同	草ぶえの丘で自然観察と陶芸
	11月28日	福祉	佐倉ホワイエでの傾聴
	12月12日	歴史	国立歴史民俗博物館見学・講義

## 6. 令和元年度の主な行事

### (1) 始業式・入学式

5月11日（土）に、始業式及び入学式が行われ、91人の新入生が晴れの日を迎えた。

佐倉市長・西田三十五総長から「佐倉市民カレッジの建学の精神は「為すことによって学び、学ぶことによってお互いを高めあい、他（た）に尽くす」でございます。この四年間の学習の中で、知識と人格共に備わったカレッジ生となっていただきますとともに、新たな仲間とともに、地域のなかで活躍できる場を創造していただくよう切に願っております。」

（抜粋）との祝辞をいただいた。続いて、在校生から「歓迎の言葉」が新入生に贈られ、

これを受けて新入生は「入学の言葉」を話した。

#### (2) 佐倉市民カレッジスポーツフェスティバル

市民体育館を会場に10月4日(金)に、クラスや学年を越えた新たな仲間づくりと健康づくりを目標としてカレッジ生全員により盛大に実施された。

種目は、スカットボール、スプーンレース、綱引き、ダンス、風船割り、玉入れ等があり、実行委員会を中心とした手作り運動会となった。

#### (3) 文化祭

11月13日(水)から11月15日(金)にわたりグループ活動や展示活動が行われた。カレッジ生による実行委員会を中心に中央公民館大ホール・カレッジ棟を主な会場として実施された。昨年度に続き、卒業生からもグループ活動発表(パネル展示・研究発表等)への参加があり、多くの方々が交流と親睦を深めることができた。出品作品は、絵画・書道・手工芸・洋裁・和裁・盆栽と多岐の分野にわたり、それぞれに万感の思いが込められた力作揃いであった。

また、実習・見学でご協力いただいている福祉施設入居者の方々にも出品を依頼し、見学と喫茶コーナーにお越しいただいた。地域の方々の満足度を高められるようなカレッジ生による文化祭は今後も意義が大きいと思われる。

最終日の11月16日(土)舞台発表の部では、クラス・コース毎に練習の成果を発表し、楽しく有意義な一時が持たれた。

#### (4) 「まちづくり実践報告会」(2年)

2学年は、私たちの考えるまちづくりについて、行動の為の具体策を話し合い「まちづくり実践報告会」を実施した。この学習は、カレッジ生個々の市政に対する学習の取り組みを重視する形を取り、市政の学習を基に自分ならこのようなビジョンを持つと個々に考えをまとめ、その後に課題意識を同じくする仲間グループ(課題部門別)を形成し、各グループ別に調査研究、討議を重ねた内容を実践し、それらの実践活動を、令和2年1月14日(火)に西田三十五総長を迎えて、1・2年合同の学習形態で、代表者による発表を行った。

発表したグループは、「SMAP27」「みみをすまして27」「♡あいあい27」「緑の保全27」「酒どころ佐倉路地裏サミット」「さくら坂27」の6グループであった。

#### (5) 修了式・卒業式

令和2年2月8日(土)に修了式、続いて卒業式を行った。

皆勤者8人を含む佐倉市民カレッジ第25期生90人が、今後の活躍を胸に秘めながら卒業証書を手にした。

西田三十五総長は「市民カレッジの建学の精神には、「為すことによって学び、学ぶことによりお互いを高めあい、他に尽くす」とございます。卒業生の皆様には、佐倉市のまちづくりの主役としての役割が期待されております。卒業後も、縁あって出会った多くの仲間と共に力を合わせ、日々充実した思いを持ち、益々ご活躍されますことをご期待申し上げます。結びに、卒業生の皆様方の更なるご健勝とご多幸を祈念いたしまして、式辞といたします。」(抜粋)との言葉を述べた。

## 7. 佐倉市民カレッジ生の課外活動

カレッジ生は自主的に団体を結成し、学習日以外にも積極的に活動している。日頃の学習とは異なり、趣味を深める活動、ボランティア活動及び地域活動など多岐にわたる。卒業生と現役カレッジ生と一緒に活動している団体もあり、その多くは、任意団体であるが、中には特定非営利活動法人もある。

中央公民館では、カレッジ園芸が、異学年や卒業生と交流を深めつつ、公民館周辺の花壇の管理、環境美化をボランティア活動として行っている。四季折々の花が来館者の目を楽しませている。

# 令和元年度 佐倉市民カレッジ 第1学年学習予定表(1)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.11 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉ジャルマ ン・ウインド・ オーケストラ
2	5.15 (水)	オリエンテー ション	学ぶことの意義	一公民館で学ぶこと・市民カレッジの概要ー 自己紹介・役員選出等			館長 社会教育指導員
3	5.22 (水)	地域を知る (1)	各地区の成り立ち 佐倉の歴史概要	文化課	地域活動 (1)	ボランティア・地域 活動の楽しさ	社会教育指導員 佐っちゃん・倉 くん応援隊25
4	5.29 (水)	健康づくり (1)	ウォークラリー	ー坂道・小径をたどり城下町佐倉を歩くー ※雨天の場合は座学			社会教育指導員 カレッジ元気 コース4年生
5	6.5 (水)	地域を知る (2)	1組 【バス見学】京成佐倉駅北口 午前9時集合 午前9時10分出発 午後3時半京成佐倉駅北口解散 ※雨天決行 見学地：酒々井リサイクル 文化センター 和田ふるさと館 DIC川村記念美術館庭園 ※バス見学 元 社会教育指導員 内田 儀久				社会教育指導員
		生涯学習の 楽しさ(1)	2組 ホームルーム スポーツフェスティ バル・文化祭に向け て等	中央公民館職員 社会教育指導員	地域活動 (2)	2組 自治会等の役 割と市民協働につい て	自治人権推進課
6	6.12 (水)	地域を知る (2)	2組 【バス見学】京成佐倉駅北口 午前9時集合 午前9時10分出発 午後3時半京成佐倉駅北口解散 ※雨天決行 見学地：酒々井リサイクル 文化センター 和田ふるさと館 DIC川村記念美術館庭園 ※バス見学 元 社会教育指導員 内田 儀久				社会教育指導員
		生涯学習の 楽しさ(1)	1組 ホームルーム スポーツフェスティ バル・文化祭に向け て等	中央公民館職員 社会教育指導員	地域活動 (2)	1組 自治会等の役 割と市民協働につい て	自治人権推進課
7	6.19 (水)	芸術と文化 (1)	房総ゆかりの作家 一波の伊八と葛飾北 斎ー	筑波大学 名誉教授 齊藤 泰嘉	自然と環境 (1)	水環境と人間生活	元印旛沼環境基金 上席研究員 本橋 敬之助
8	6.26 (水)	生涯学習の 楽しさ(2)	スポーツフェスティ バルに向けて等	社会教育指導員	芸術と文化 (2)	収蔵作品展2	佐倉市立美術館 学芸員
9	7.3 (水)	地域活動 (3)	1組 地域活動の実 践者に学ぶ(現地視 察)	佐倉一里塚、手 づくり工房さく ら	私の生きがい (1)	1組 私の生きがい	社会教育指導員
		私の生きがい (1)	2組 私の生きがい	社会教育指導員	地域活動 (3)	2組 地域活動の実 践者に学ぶ(現地視 察)	佐倉一里塚、手 づくり工房さく ら
10	7.10 (水)	社会福祉 (1)	佐倉市の地域福祉	佐倉市社会福祉 協議会	高齢者を取り 巻く犯罪と交 通の知識	振込め詐欺と交通安 全	佐倉警察署
11	7.17 (水)	健康づくり (2)	食品衛生について 一食中毒とアレル ギー	印旛健康福祉セ ンター 食品衛 生担当者	文学 (1)	郷土の歌人 ー香取秀真の 短歌に親しむー	斎藤茂吉記念館長 秋葉 四郎
12	9.4 (水)	私の生きがい (2)	私の生きがい発表				社会教育指導員
13	9.11 (水)	文学 (2)	『源氏物語』を語る	東京情報大学 名誉教授 松田 喜好	地域を知る (3)	印旛沼と人々の生活 ー江戸時代の干拓事 業ー	元成田高校教諭 鏑木 行廣
14	9.18 (水)	市政を学ぶ (1)	佐倉市の環境保全施策 佐倉市のごみの減量・ 再資源化について	生活環境課 廃棄物対策課	地域を知る (4)	佐倉市の農業	JA千葉みらい 組織指導課 課長 根本 晴彦
15	9.25 (水)	健康づくり (3)	楽しみながらできる 健康づくり ー理論とカレッジ体 操ー	順天堂大学 名誉教授 武井 正子	健康づくり (4)	リズムダンス	社会教育指導員/ 元気コース卒業 生
16	10.4 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員

## 令和元年度 佐倉市民カレッジ 第1学年学習予定表（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
17	10.9 (水)	世代間交流 (1)	世代間交流に向けて 概要説明・DVD視聴 等	社会教育指導員	地域活動 (4)	佐原まちぐるみ博物 館に学ぶ	佐原おかみさん会
18	10.16 (水)	健康づくり (5)	リズム体操	(財)日本体操協会 一般体操指導員 松田 利奈	世代間交流 (2)	絆を引き継ぐ 世代間交流	東京都健康長寿医 療センター研究所 非常勤研究員 高橋 知也
19	10.23 (水)	自然と環境 (2)	里山の生態	東京情報大学 教授 原 慶太郎	生涯学習の 楽しさ(4)	文化祭に向けて	社会教育指導員
20	11.6 (水)	生涯学習の楽 しさを(5)	カレッジ文化祭に向けて 研究・活動発表、作品展示の事前確認・舞台発表の練習				社会教育指導員
21	11.13 (水)～ 11.15 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさを(6)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.13(水)～11.15(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
22	11.16 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさを(7)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
23	11.27 (水)	世代間交流 (3)	小学生との交流に 向けて －話し合い－	社会教育指導員	世代間交流 (4)	小学生との交流に 向けて －活動準備－	社会教育指導員
24	12.4 (水)	市政を学ぶ (2)	佐倉市の総合計画に ついて	企画政策課	自然と環境 (3)	北総地域の環境から 生まれた野菜行商	千葉県立中央博物館 自然誌・歴史研究部 歴史学研究科長 小林 裕美
25	12.11 (水)	世代間交流 (5)	小学生との交流 －市内小学校で体験－	社会教育指導員	世代間交流 (6)	小学生との交流 －振り返り－	社会教育指導員
26	12.18 (水)		*		1・2年合同 公開講演会	今年の国際情勢	敬愛大学 教授 水口 章
27	1.8 (水)	自然と環境 (4)	水の都・佐倉 －佐倉の豊かな湧水－	元千葉敬愛短期大 学学長 酒々井町青樹堂名 誉塾長 堀田 和弘	社会福祉 (2)	海外の福祉から見る 日本の福祉	立教大学 前講師 久良木 香
28	1.14 (火)		*		1・2年合同 地域活動 (5)	2年生のまちづくり 実践報告を聞く	総長
29	1.22 (水)	地域活動 (6)	3年生のまちづくりに学ぶ				市民カレッジ 3年生
30	1.29 (水)	文学 (3)	東洋思想 中国の名言20選	横芝敬愛高校講師 山本 郁夫	自然と環境 (5)	千葉県の地質環境	茨城大学名誉教授 楡井 久
31	2.5 (水)	社会福祉 (3)	高齢社会をどう生き るか －少子高齢社会の 日本の課題－	聖徳大学教授 川口 一美	ホームルーム	2年生に向けて	社会教育指導員
32	2.8 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

## 令和元年度 佐倉市民カレッジ 第2学年学習予定表（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.11 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマ ン・ウインド・ オーケストラ
2	5.14 (火)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	まちづくり (1)	私たちのまちづくり	社会教育指導員
3	5.21 (火)	まちづくり (2)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	まちづくり (3) 地域活動(1)	カレッジ生・卒業生 まちづくり活動 実践者の発表	印旛沼ネット ワーカーの会、 子都手留会、影 絵塾9、さくら 竹垣物語25
4	5.28 (火)	市政を学ぶ (1)	佐倉市の文化・ 文化財行政	文化課	地域活動 (2)	住民参加のまちづく り	千葉大学大学院 准教授 森永 良丙
5	6.4 (火)	共生社会 (1)	千葉県の部落問題 について	千葉県人権センター 常務理事 鎌田 行平	社会福祉	地域福祉とは	元佐倉市福祉部長 川根 紀夫
6	6.11 (火)	まちづくり (4)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	まちづくり (5)	私たちのまちづくり	社会教育指導員
7	6.18 (火)	市政を学ぶ (2)	佐倉市の児童・青少年 への取り組みについて	児童青少年課	佐倉の歴史 (1)	原始古代の佐倉 -印旛沼周辺の人々-	印旛都市 文化財センター 調査課 小倉 和重
8	6.25 (火)	市政を学ぶ (3)	佐倉市の公園緑地 について (10:10～11:00)	公園緑地課	市政を学ぶ (4)	避難所運営ゲーム HUG (12:00～15:00)	危機管理室
9	7.2 (火)	まちづくり (6)	景観について	首都大学東京 助教 片桐 由希子	暮らし・生活	高齢者の経済生活	放送大学教授 山田 知子
10	7.9 (火)	佐倉の歴史 (2)	中世近世の佐倉	文化課	まちづくり (7)	私たちのまちづくり	社会教育指導員
11	7.16 (火)	市政を学ぶ (5)	佐倉市の健康管理の 取り組みについて	健康増進課	健康づくり (1)	シニア世代の運動療 法	順天堂大学 スポーツ健康科学部 助教 門屋 悠香
12	9.3 (火)	民俗	今に生きる講と信仰	千葉県立中央博物館 自然誌・歴史研究部 歴史学研究科長 小林 裕美	文学 (1)	房総と万葉集	万葉研究家 岡本 好
13	9.10 (火)	地域活動 (3)	社会生活と ボランティア活動	神奈川大学 教授 齊藤 ゆか	地域活動 (4)	佐倉の住みよさと 住まいの終活	千葉大学名誉教授 服部 岑生
14	9.17 (火)	家庭と法律 (1)	裁判員制度について	千葉地方検察庁	ホームルーム	スポーツフェスティ バルに向けて	社会教育指導員
15	9.24 (火)	自然と環境 (1)	河川湖沼の水辺環境と 水質浄化の考え方	千葉工業大学 名誉教授 瀧 和夫	自然と環境 (2) 佐倉学公開講座	印旛沼周辺の野鳥	日本野鳥の会 浅野 俊雄
16	10.1 (火)	病理と予防 (1)	メンタルヘルスにつ いて	健康増進課	まちづくり (8)	食を通じた居場所づくり	一般社団法人全国 食支援活動協力会 専務理事 平野 覚治
17	10.4 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
18	10.8 (火)	まちづくり (9)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	文学 (2)	房総と文学 佐倉の文学風土	元江戸川大学教授 文芸評論家 鳥海 宗一郎

## 令和元年度 佐倉市民カレッジ 第2学年学習予定表（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
19	10.15 (火)	まちづくり (10)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員
20	10.29 (火)	家庭と法律 (2)	身近な法律知識 訴訟と人権	弁護士 法政大学法科大学 学院教授 高須 順一	市政を学ぶ (6)	高齢者福祉の取り組 みと認知症	高齢者福祉課
21	11.5 (火)	佐倉の教育	佐倉学について	佐倉市史編さん委員 内田 儀久 社会教育課	健康づくり (2)	ヨガでリフレッシュ 〔実技〕	健康運動指導士 荒谷 美枝子
22	11.13 (水)～ 11.15 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.13(水)～11.15(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他			社会教育指導員 公民館職員	
23	11.16 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール			社会教育指導員 公民館職員	
24	11.19 (火)	佐倉の歴史 (3)	佐倉の明治維新	元千葉県文書館 川本 愉彦	自然と環境 (3)	身近な自然環境に関 する最近の話題	神奈川工科大学 倉西 良一
25	11.26 (火)	まちづくり (11)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	専攻課程の 学習	専攻課程の学習に 向けて 4年生コース代表説明	社会教育指導員
26	12.3 (火)	市政を学ぶ (7)	佐倉市の観光	産業振興課	共生社会 (2)	男女平等参画につい て	城西国際大学 国際人文学部 国際文化学科准教授 遠藤 恵子
27	12.10 (火)	まちづくり (12)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	佐倉の歴史 (4)	紀行文・物語に見る 地域文化	元成田高校教諭 鏑木 行廣
28	12.18 (水)	情報社会 (1)	情報とリスク	東京情報大学 名誉教授 成瀬 敏郎	1・2年合同 公開講演会	今年の国際情勢	敬愛大学 教授 水口 章
29	1.10 (金)	まちづくり (13)	私たちのまちづくり 実践報告に向けて①	社会教育指導員	情報社会 (2)	人工知能 ～コンピュータにできる ことできないこと～	東京情報大学 准教授 マッキン・ ケネスジェームス
30	1.14 (火)	まちづくり (14)	私たちのまちづくり 実践報告に向けて②	社会教育指導員	まちづくり (15) (1・2年合同)	私たちのまちづくり 実践報告	総長
31	1.21 (火)	佐倉の歴史 (5)	ポスターなどからみた 平成の佐倉市	佐倉市史編さん 委員 内田 儀久	佐倉の歴史 (6)	佐倉の鉄道史	鉄道史研究家 白土 貞夫
32	1.28 (火)	情報社会 (3)	地域における フリーペーパーの役 割	(株)地域新聞 社	ホームルーム	3年生に向けて	社会教育指導員
33	2.8 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

# 令和元年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

## 専攻課程 あったか福祉コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.11 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉ジャルマ ン・ウインド・ オーケストラ
2	5.17 (金)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	オリエンテーション	コース概要	社会教育指導員 福祉コース卒業生
3	5.31 (金)	福祉サービス (1)	福祉サービス提供の 基本視点	社会福祉法人 誠友会 理事長 竹内 淳	健康づくり	生活習慣病予防	健康運動指導士 加藤 未来
4	6.14 (金)	施設見学・体 験 (1)	佐倉ホワイエの見学 及び 車椅子の種類・構造、 介助方法について	佐倉ホワイエ 丸山 孝士	障害福祉 (1)	障害者(児)福祉制度 の概要とサービス内 容	社会福祉法人 千 住会 業務執行理事 稲阪 稔
5	6.21 (金)	3年福祉・元 気合同講座	救急法を学ぶ	佐倉消防署	施設見学・体 験 (2)	千葉県立千葉盲学校 —体験学習—	千葉県立 千葉盲学校
6	6.28 (金)	生活と健康 (1)	高齢期の栄養と食生活のあり方（調理実習）				栄養士 六崎 美知代
7	7.19 (金)	子育て支援 (1)	子育て支援の 現状と課題	千葉敬愛短期大学 教授 吉村 真理子	生活と健康 (2)	高齢者に多い 疾患の基礎知識と 予防・対処方法	佐倉白翠園 看護主任 後田 恵子
8	9.6 (金)	ボランティア活動 の実践に向け て	聴く技術	東京メンタルヘルス チーフカウンセラー 淵上 規后子	介護演習 (1)	介護技術の基礎	佐倉白翠園 介護次長 三浦 恵子
9	9.27 (金)	体験学習	国際福祉機器展見学・東京ビッグサイト				社会教育指導員
10	10.4 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
11	10.11 (金)	子育て支援 (2)	地域で子育て、 みんなで子育て (施設見学・交流、 講座)	佐倉保育園	話し合い学習	国際福祉機器展を 見学して	社会教育指導員
12	10.18 (金)	4コース合同 講演会	過去の災害から学ぶ 防災対策 —私たちにできるこ と—	防災コミュニ ティネットワー ク代表 青木 信夫	福祉サービス (2)	介護保険制度の概要 と サービス内容	高齢者福祉課

# 令和元年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

## 専攻課程 あったか福祉コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	11.1 (金)	介護演習 (2)	介護技術の基礎	佐倉白翠園 介護次長 三浦 恵子	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員
14	11.13 (水)～ 11.15 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.13(水)～11.15(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
15	11.16 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
16	11.22 (金)	施設見学・体 験 (3)	特別養護老人ホーム佐倉白翠園の見学、体験 集合 午前9時50分				特別養護老人 ホーム佐倉白翠 園
17	12.13 (金)	障害福祉 (2)	聴覚障害を理解する	障害福祉課	障害福祉 (3)	パラリンピックの理 解と体験について	順天堂大学 スポーツ健康科学部 准教授 渡 正
18	1.10 (金)	福祉サービ ス (3)	地域包括支援セ ンターについて	白井・千代田地域 包括支援センター 所長 佐藤 智之	生活と健康 (3)	楽しむ喜びと 食べることの意義	歯学博士 鳩貝 尚志
19	1.24 (金)	施設見学・体 験 (4)	佐倉ホワイエ体験学習 一移乗動作と 歩行介助一	佐倉ホワイエ 丸山 孝士	生活と健康 (4)	高齢者にやさしい住 まい	一級建築士 小杉 敬太郎
20	1.31 (金)	4コース合同 総長講話 /ホームルー ム	総長講話 4年生に向けて	総長 社会教育指導員	4コース合同 講演会	伊能忠敬の人間像 -人生を二度生きる-	伊能忠敬研究会 代表理事 鈴木 純子
21	2.8 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

# 令和元年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

## 専攻課程 ふるさと歴史コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.11 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ウインド・オーケストラ
2	5.17 (金)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	刈エンターション	コース概要	社会教育指導員
3	5.31 (金)	歴史散策 (1)	大佐倉の歴史散策 集合 午前9時20分 京成大佐倉駅改札口外 散策 午後3時 現地解散予定				まちづくり支援 ネットワーク佐倉
4	6.14 (金)	佐倉市の歴史 (1)	中世佐倉の道	市文化財審議委員 県立佐倉東高校 教諭 遠山 成一	佐倉市の歴史 (2)	国指定史跡 本佐倉城跡と千葉氏	文化課
5	6.28 (金)	歴史散策 (2)	臼井の歴史散策 集合 午前9時20分 京成臼井駅北口下 散策 午後3時 現地解散予定				佐倉ふるさと談話会 細道 恭堂
6	7.12 (金)	郷土の先覚者 (1)	浅井忠と 佐倉ゆかりの芸術家	佐倉市立美術館	佐倉市の歴史 (3)	村方文書から分かる こと —江戸時代の佐倉—	行政管理課 市史編さん担当
7	7.19 (金)	佐倉市の歴史 (4)	佐倉の歴史的建築物	市文化財審議委員 国立歴史民俗博物 館 名誉教授 濱島 正士	佐倉市の歴史 (5)	本佐倉城跡と臼井城 跡の発掘成果と 東国の戦国時代	国立歴史民俗博物館 名誉教授 小野 正敏
8	9.13 (金)	佐倉市の歴史 (6)	佐倉城下町の 祭礼文化について	祭礼文化研究家 山瀬 一男	郷土の先覚者 (2)	津田 仙 —近代農業のさきが け—	津田仙の曾孫 津田 道夫
9	9.27 (金)	歴史散策 (3)	佐倉地区(城址公園)の歴史散策 集合 午前9時30分 市民体育館 散策 午後3時 解散予定				まちづくり支援 ネットワーク佐倉
10	10.4 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
11	10.11 (金)	日本遺産 町並み散策	【日本遺産北総四都市江戸紀行】成田山の歴史を学ぶ 集合 午前10時10分 JR成田駅改札口外 散策 午後3時 現地解散予定				成田市文化財 審議委員会 委員長 小倉 博
12	10.18 (金)	4コース合同 講演会	過去の災害から学ぶ 防災対策 —私たちにできるこ と—	日本防災士会 青木 信夫	佐倉市の歴史 (7)	国指定史跡 井野長割遺跡について	文化課

# 令和元年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

## 専攻課程 ふるさと歴史コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	11.8 (金)	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員	郷土の先覚者 (3)	佐藤泰然と佐倉順天堂 (現地解散)	文化課
14	11.13 (水)～ 11.15 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.13(水)～11.15(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他			社会教育指導員 公民館職員	
15	11.16 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール			社会教育指導員 公民館職員	
16	11.22 (金)	歴史散策 (4)	志津の歴史散策 集合 午前9時45分 ユーカリが丘線中学校駅 散策 午後3時 現地解散予定			NPO法人 佐倉一里塚	
17	12.6 (金)	佐倉市の歴史 (8)	古今佐倉真佐子に ついて	行政管理課 市史編さん担当	佐倉市の歴史 (9)	佐倉牧	市文化財審議委員 立教大学兼任講師 國學院大學兼任講師 高見澤 美紀
18	12.13 (金)	佐倉市の歴史 (10)	堀田正倫と幕末・ 明治の佐倉の人々	文化課	佐倉市の歴史 (11)	佐倉新町の景観	酒々井町文化財 審議会会長 高橋 健一
19	1.17 (金)	歴史コースの まとめに向け て	カレッジ生が取り組 みたい研究テーマ (各自発表)	市史編さん委員 内田 儀久	佐倉市の歴史 (12)	佐倉藩士と沼津兵学校	国立歴史民俗博物館 教授 樋口 雄彦
20	1.31 (金)	4コース合同 総長講話 /ホームルー ム	総長講話 4年生に向けて	総長 社会教育指導員	4コース合同 講演会	伊能忠敬の人間像 -人生を二度生きる-	伊能忠敬研究会 代表理事 鈴木 純子
21	2.8 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

# 令和元年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

## 専攻課程 さわやか情報コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.11 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉ジャルマ ン・ウインド・ オーケストラ
2	5.17 (金)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	オリエンテーション	コース概要	社会教育指導員
3	5.24 (金)	課題学習 (1)	カレッジ情報紙を作ろう ① 編集会議	社会教育指導員	地域情報誌 づくり	情報紙の記事と レイアウト	千葉日報 編集局次長・論 説委員 安原 直樹
4	6.14 (金)	情報伝達の技 術(1)	パソコンに触れてみよう ①	パソコン インストラク ター	情報伝達の技 術(2)	パソコンに触れてみよう ②	パソコン インストラク ター
5	6.28 (金)	情報化時代の 学習(1) 施設見学	東京情報大学施設見学と講義 午前10時中央公民館出発 午後3時中央公民館解散予定			東京情報大学	
6	7.5 (金)	情報伝達の技 術(3)	ワードを使おう①	情報コース卒業 生	情報伝達の技 術(4)	ワードを使おう②	情報コース卒業 生
7	7.12 (金)	情報伝達の技 術(5)	ワードを使おう③	情報コース卒業 生	情報伝達の技 術(6)	ワードを使おう④	情報コース卒業 生
8	9.13 (金)	情報化時代の 学習(2) 施設見学	広域高速ネット296スタジオ見学 講話「地域の情報発信-CATVの可能性」 スタジオ見学-情報が発信されるまで- 午前9時45分現地集合 午後3時現地解散予定			広域高速ネット 296	
9	9.20 (金)	課題学習 (2)	カレッジ情報紙を作ろう ②	社会教育指導員	情報化時代の 学習(3)	情報化社会と著作権	(一社)コンピュ ータソフ トウェア 著作権協会 専務理事 久保田 裕
10	10.4 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館			社会教育指導員 公民館職員	
11	10.11 (金)	情報化時代の 学習(4)	インターネット活用術①	株式会社 教育システム 本間 達哉	情報化時代の 学習(4)	インターネット活用術②	株式会社 教育システム 本間 達哉
12	10.18 (金)	4コース合同 講演会	過去の災害から学ぶ 防災対策 -私たちにできるこ と-	日本防災士会 青木 信夫	課題学習 (3)	カレッジ情報紙を作ろう ③	社会教育指導員

# 令和元年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

## 専攻課程 さわやか情報コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	11.8 (金)	課題学習 (4)	カレッジ情報紙を作ろう ④	社会教育指導員	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員
14	11.13 (水)～ 11.15 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.13(水)～11.15(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他			社会教育指導員 公民館職員	
15	11.16 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール			社会教育指導員 公民館職員	
16	11.22 (金)	情報伝達の技 術(7)	タブレットを 体験してみよう	NTTドコモ インストラク ター	情報伝達の技 術(8)	ヴィジュアルコミュ ニケーションとデザ イン	女子美術大学 短期大学部 教授 佐藤 真澄
17	12.13 (金)	課題学習 (5)	カレッジ情報紙を作ろう ⑤	社会教育指導員	情報化時代の 学習(5)	情報社会を考える	東京情報大学 教授 茨木 正治
18	1.10 (金)	情報伝達の技 術(9)	パワーポイント①	情報コース卒業 生	情報伝達の技 術(10)	パワーポイント②	情報コース卒業 生
19	1.17 (金)	課題学習 (6)	カレッジ情報紙を作ろう ⑥	社会教育指導員	課題学習 (7)	カレッジ情報紙を作ろう ⑦(印刷)	社会教育指導員
20	1.31 (金)	4コース合同 総長講話 /ホームルー ム	総長講話 4年生に向けて	総長 社会教育指導員	4コース合同 講演会	伊能忠敬の人間像 -人生を二度生きる-	伊能忠敬研究会 代表理事 鈴木 純子
21	2.8 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

# 令和元年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

## 専攻課程 ゆっくり元気コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.11 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ウインド・オーケストラ
2	5.17 (金)	ホームルーム	役員選出 写真撮影 (体組成測定)	社会教育指導員 健康増進課	オリエンテーション	コース概要	社会教育指導員
3	5.31 (金)	課題学習 (1)	ウォークラリー コースを作ろう (1)	社会教育指導員	生活と健康 (1)	熱中症予防と水分補給 ～暑さに向かって～	NPOニッポン ランナーズ ランニングコーチ 中田 修弘
4	6.7 (金)	健康づくり (1)	ウォークラリーで健康増進 -初夏の風を受け、森林浴- 予備日：6.14			社会教育指導員 公民館職員	
5	6.13 (木)	健康づくり (2) 3・4年 元気コース合 同	3・4年元気コース合同 イタリア文化とサッカーを学ぶ			一般社団法人 ゾナカルチョ ACミラニアカデ ミー千葉・佐倉	
6	6.21 (金)	3年福祉・元 気合同講座	救急法を学ぶ	佐倉消防署	課題学習 (2)	ウォークラリー コースを作ろう (2)	社会教育指導員
7	7.5 (金)	スポーツと健 康	チームワークを考え る	順天堂大学 スポーツ健康科学部 准教授 水野 基樹	健康づくり (3)	みんなで楽しむ レクリエーション	元社会教育指導 員 川口 はぎ江
8	7.19 (金)	健康づくり (4)	太極拳 静かな動きを 体験しよう	佐倉太極拳同好会 嶋田 桂子 服部 陽子	地域活動	総合型地域 スポーツクラブ	NPOニッポン ランナーズ セネラ ルマネージャー 齊藤 太郎
9	9.20 (金)	健康づくり (5)	ニュースポーツに チャレンジ	元気コース卒業 生	病理と予防 (1)	生活習慣病と健康	日本ウェルネス スポーツ大学 教授 鈴木 勝彦
10	10.4 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館			社会教育指導員 公民館職員	
11	10.11 (金)	課題学習 (3)	ウォークラリーコースを作ろう(3) -自分たちでルート(経路)を歩き、ウォークラリーコースを検証する-			社会教育指導員 公民館職員	
12	10.18 (金)	4コース合同 講演会	過去の災害から学ぶ 防災対策 -私たちにできるこ と-	日本防災士会 青木 信夫	病理と予防 (2)	高齢期の健康法	順天堂大学 名誉教授 武井 正子

# 令和元年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

## 専攻課程 ゆっくり元気コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.25 (金)	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員	健康づくり (6)	健康体操 からだを動かして リフレッシュしよう	健康運動指導士 加藤 未来
14	11.8 (金)	課題学習 (4)	ウォークラリーコースを作ろう(4) —他グループのルート(経路)を歩き、ウォークラリーコースを検証する—				社会教育指導員 公民館職員
15	11.13 (水)～ 11.15 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.13(水)～11.15(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.16 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
17	12.6 (金)	課題学習 (5)	ウォークラリー コースを作ろう (5)	社会教育指導員	健康づくり (7)	ヨガ ゆったりと リフレッシュしよう	インストラク ター 岡本 美鈴
18	12.19 (木)	健康づくり (8) 3・4年 元気コース合 同	スポーツ健康科学 〔日程・内容変更の 可能性有〕	順天堂大学 スポーツ健康科学部 准教授 柳谷 登志雄	健康づくり (9) 3・4年 元気コース合 同	ニュースポーツ大会	社会教育指導員
19	1.17 (金)	生活と健康 (2)	私が行っている 健康づくり 〔個人発表〕 〈体組成測定〉	社会教育指導員 健康増進課	健康づくり (10)	リズム体操 音楽に合わせて 動いてみよう	(財)日本体操協会 一般体操指導員 松田 利奈
20	1.31 (金)	4コース合同 総長講話  /ホームルー ム	総長講話  4年生に向けて	総長  社会教育指導員	4コース合同 講演会	伊能忠敬の人間像 -人生を二度生きる-	伊能忠敬研究会 代表理事 鈴木 純子
21	2.8 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

# 令和元年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

## 専攻課程 あったか福祉コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.11 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ウインド・オーケストラ
2	5.16 (木)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	学び合い学習 (1)	学び合い学習に向けて ① 目的を知ろう	社会教育指導員
3	6.6 (木)	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する ① (企画の話し合い)	社会教育指導員	ボランティア活動 の実践に向け て (1)	ボランティア活動へ の心構え	佐倉白翠園 デ「イ」センター 所長 朝生 明美
4	6.20 (木)	施設見学・体 験	木の宮学園の見学及 び知的障害の特性 集合 現地午前9時30分	木の宮学園 サービス管理 責任者 山崎 康弘	学び合い学習 (2)	学び合い学習に向けて ② コースのテーマを 決めよう	社会教育指導員
5	7.4 (木)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	エッセイスト 高比良 直美	自主企画講座 (2)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する② (企画の準備と 役割分担)	社会教育指導員
6	7.11 (木)	健康づくり (1)	笑いヨガと自力整体	自力整体セラピスト 秋田 美智子	ボランティア活動 の実践に向け て (2)	こころに触れる生かす カウンセリング	東京メンタルス チーフカウンセラー 淵上 規后子
7	7.18 (木)	障害福祉 (1)	発達障害を理解する -子どもから大人ま での発達障害-	元中学校教員、教 育カウンセラー、 現 成田市教育相談 員 塩田 邦子	健康づくり (2)	色と心の関係	コミュニティカウンセラー 北村 倫子
8	9.5 (木)	ボランティア活動 の実践に向け て (3)	傾聴心得	セルフ《自立》 カウンセリング 研究所 濱田 はるみ	自主学习	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
9	9.19 (木)	障害福祉 (2)	聴覚障害者への接し方	佐倉市ろう者協 会、特定非営利活 動法人 千葉県中 途失聴者・難聴者 協会	学び合い学習 (3)	学び合い学習に向け て ③ 発表準備をしよう	社会教育指導員
10	9.26 (木)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむー卒業記念作品の制作ー 集合 午前9時20分 草ぶえの丘 内容 午前 陶芸 午後 草ぶえの丘で自然観察 午後3時現地解散				草ぶえの丘 職員
11	10.4 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)		【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館			社会教育指導員 公民館職員
12	10.10 (木)	学び合い学習 (4)	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員	学び合い学習 (5)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員

# 令和元年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

## 専攻課程 あったか福祉コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.24 (木)	学び合い学習 (6)	情報コースを招待して	社会教育指導員	学び合い学習 (7)	歴史コースを招待して	社会教育指導員
14	11.7 (木)	学び合い学習 (8)	元気コースを招待して	社会教育指導員	学び合い学習 (9)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員
15	11.13 (水)～ 11.15 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.13(水)～11.15(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他			社会教育指導員 公民館職員	
16	11.16 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール			社会教育指導員 公民館職員	
17	11.28 (木)	ボランティア活動 の実践に向け て (4)	佐倉ホワイエでの傾 聴	佐倉ホワイエ 丸山 孝士	ボランティア活動 の実践に向け て (5)	日本の高齢者、 ちょっと外から見れ ば —日本の高齢者と ボランティア—	立教大学 前講師 久良木 香
18	12.19 (木)	自主企画講座 (3)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する③	社会教育指導員	健康づくり (3)	元気なうちから始める 介護予防	高齢者福祉課
19	1.9 (木)	学習のまとめ	福祉活動の実践に 向けて —発表リハーサル—	社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
20	1.23 (木)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす —各コース代表発表—	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	総長講話	総長
21	2.6 (木)	4コース合同 講演会	新たな出発	佐倉市 社会福祉協議会	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
22	2.8 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

# 令和元年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

## 専攻課程 ふるさと歴史コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.11 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ ウインド・ オーケストラ
2	5.16 (木)	ホームルーム	役員選出 写真撮影 コース概要	社会教育指導員	学び合い学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員
3	5.23 (木)	日本遺産 町並み散策 (1)	【日本遺産北総四都市江戸紀行】新町の歴史散策 午前10時 中央公民館出発 散策 午後3時 現地解散予定			酒々井町文化財 審議会会長 高橋 健一	
4	6.13 (木)	自主企画講座 (1)・ 自主学习	学生がテーマを決めて 企画し補習学習するた めの話し合い 及び自主学习に向けて	社会教育指導員	佐倉市の歴史 (1)	近世佐倉の道 —成田道—	八千代市郷土 歴史研究会 村田 一男
5	6.27 (木)	佐倉市の歴史 (2)	佐倉炭	千葉県立郷土博 物館 市史編さん担当 土屋 雅人	佐倉市の歴史 (3)	幕末明治に海を渡った 佐倉人	市史編さん委員 内田 儀久
6	7.4 (木)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	エッセイスト 高比良 直美	学び合い学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員
7	7.11 (木)	日本遺産 町並み散策 (2)	【日本遺産北総四都市江戸紀行】「佐原のまちづくりを学ぶ」（散策） 集合 午前9時25分 JR成田駅改札口の中 成田駅→佐原駅下車 散策 午後3時 現地解散予定			NPO法人 小野 川と佐原の町並 みを考える会	
8	7.18 (木)	佐倉市の歴史 (4)	外国人の通り過ぎた 明治の佐倉	市史編さん委員 内田 儀久	学び合い学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員
9	9.12 (木)	佐倉市の歴史 (5)	堀田正倫と 地域の関わり	中央大学文学部 人文社会学科 宮間 純一	佐倉市の歴史 (6)	佐倉連隊と 戦時下の佐倉	国立歴史民俗博物 館名誉教授、総合 研究大学院大学名 誉教授 安田 常雄
10	9.26 (木)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむ—卒業記念作品の制作— 集合 午前9時20分 草ぶえの丘 内容 午前 陶芸 午後 草ぶえの丘で自然観察 午後3時現地解散			草ぶえの丘 職員	
11	10.4 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（1）	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館			社会教育指導員 公民館職員	
12	10.10 (木)	学び合い学習 (4)	元気コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (5)	福祉コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員

# 令和元年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

## 専攻課程 ふるさと歴史コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.24 (木)	学び合い学習 (6)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員	学び合い学習 (7)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員
14	11.7 (木)	学び合い学習 (8)	情報コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (9)	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員
15	11.13 (水)～ 11.15 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.13(水)～11.15(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他			社会教育指導員 公民館職員	
16	11.16 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール			社会教育指導員 公民館職員	
17	11.28 (木)	自主企画講座 (2)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する②	社会教育指導員	自主学习	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
18	12.12 (木)	地域活動	これからの博物館で必要なこと・歴博を楽しむ 〔国立歴史民俗博物館を見学〕 集合 午前9時40分 国立歴史民俗博物館玄関外 午後3時現地解散予定				国立歴史民俗博 物館館長 久留島 浩
19	1.9 (木)	学習のまとめ	研究論文の発表	元社会教育指導員 内田 儀久	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
20	1.23 (木)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす -各コース代表発表-	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	総長講話	総長
21	2.6 (木)	4コース合同 講演会	新たな出発	佐倉市 社会福祉協議会	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
22	2.8 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

# 令和元年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

## 専攻課程 さわやか情報コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.11 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマ ン・ウインド・ オーケストラ
2	5.16 (木)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	学び合い学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員
3	5.23 (木)	情報伝達の技 術(1)	ワード	情報コース卒業 生	情報化時代の 学習(1)	映像作品ができるまで	広域高速ネット 296放送制作部 係長 平川 裕
4	6.13 (木)	情報伝達の技 術(2)	エクセルにチャレンジ ①	情報コース卒業 生	情報伝達の技 術(3)	エクセルにチャレンジ ②	情報コース卒業 生
5	6.27 (木)	情報伝達の技 術(4)	エクセルにチャレンジ ③	情報コース卒業 生	情報伝達の技 術(5)	エクセルにチャレンジ ④	情報コース卒業 生
6	7.4 (木)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	エッセイスト 高比良 直美	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する① (企画の話し合い)	社会教育指導員
7	7.11 (木)	学び合い学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員	情報化時代の 学習(2)	SNSや動画による 情報発信	合同会社 環賢堂 代表社員 玉木 勝
8	9.12 (木)	情報化時代の 学習(3) 施設見学	【情報発信の現場を見に行こう】 会場 読売新聞東京本社 ほか 地下鉄「大手町駅」C3出口 午前10時20分 現地集合 午後2時 現地解散				社会教育指導員
9	9.19 (木)	学び合い学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員	学び合い学習 (4)	学び合い学習に向けて ④	社会教育指導員
10	9.26 (木)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむー卒業記念作品の制作ー 集合 午前9時20分 草ぶえの丘 内容 午前 陶芸 午後 草ぶえの丘で自然観察 午後3時現地解散			草ぶえの丘 職員	
11	10.4 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
12	10.10 (木)	学び合い学習 (5)	福祉コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員	学び合い学習 (6)	元気コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員

# 令和元年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

## 専攻課程 さわやか情報コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.24 (木)	学び合い学習 (7)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員	学び合い学習 (8)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員
14	11.7 (木)	学び合い学習 (9)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (10)	歴史コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員
15	11.13 (水)～ 11.15 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.13(水)～11.15(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他			社会教育指導員 公民館職員	
16	11.16 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール			社会教育指導員 公民館職員	
17	11.28 (木)	情報化時代の 学習(4)	報道の現場から	元日本テレビ 放送網報道局 町田 博祐	自主企画講座 (2)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する②	社会教育指導員
18	12.12 (木)	自主学習	学生がテーマを決め て自主的に学習する	社会教育指導員	情報化時代の 学習(5)	おカネとITの 経営戦略	東京情報大学 准教授 樋口 大輔
19	1.9 (木)	学習のまとめ	情報コース卒業生 の活動紹介	情報コース卒業生 社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
20	1.23 (木)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす -各コース代表発表-	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	総長講話	総長
21	2.6 (木)	4コース合同 講演会	新たな出発	佐倉市 社会福祉協議会	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
22	2.8 (土)	カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長		*	

# 令和元年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

## 専攻課程 ゆっくり元気コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.11 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ウインド・オーケストラ
2	5.16 (木)	ホームルーム	役員選出 写真撮影 (体組成測定)	社会教育指導員 健康増進課	地域活動 (1)	ウォークラリーに向 けて	社会教育指導員
3	5.29 (水)	地域活動 (2)	実践活動 ウォークラリー 一坂道・小径をたどり城下町佐倉を歩くー (1年生のウォークラリーの際のスタッフとして活動 雨天の場合は座学)				社会教育指導員
4	6.13 (木)	健康づくり (1) 3・4年 元気コース合 同	3・4年元気コース合同 イタリア文化とサッカーを学ぶ				一般社団法人 ゾナカルチョ ACミランアカデ ミー千葉・佐倉
5	6.20 (木)	地域活動 (3)	ターゲットバード ゴルフ 晴天：佐倉市ターゲッ トバードゴルフ場 雨天：大ホール	佐倉市 ターゲッ トバードゴルフ協会 伊藤 國彦	学び合い学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員 元気コース卒業 生
6	7.4 (木)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	エッセイスト 高比良 直美	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する① (企画の話し合い)	社会教育指導員
7	7.18 (木)	学び合い学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員	健康づくり (2)	自力整体と笑いヨガ	自力整体ビゲーター 秋田 美智子
8	9.5 (木)	自然観察の すすめ	都市近郊の 野鳥の生態 晴天：フィールド 雨天：室内座学	日本野鳥の会 浅野 俊雄	学び合い学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員
9	9.12 (木)	健康づくり (3)	健康を保つ食事作り (調理実習)	高齢者福祉課	自主企画講座 (2)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する②	社会教育指導員
10	9.26 (木)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむー卒業記念作品の制作ー 集合 午前9時20分 草ぶえの丘 内容 午前 陶芸 午後 草ぶえの丘で自然観察 午後3時現地解散				草ぶえの丘 職員
11	10.4 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員
12	10.10 (木)	学び合い学習 (4)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (5)	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員

# 令和元年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

## 専攻課程 ゆっくり元気コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.24 (木)	学び合い学習 (6)	歴史コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員	学び合い学習 (7)	情報コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員
14	11.7 (木)	学び合い学習 (8)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員	学び合い学習 (9)	福祉コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員
15	11.13 (水)～ 11.15 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.13(水)～11.15(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他			社会教育指導員 公民館職員	
16	11.16 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール			社会教育指導員 公民館職員	
17	12.5 (木)	自主企画講座 (3)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する③	社会教育指導員	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
18	12.19 (木)	健康づくり (4) 3・4年 元気コース合 同	スポーツ健康科学 〔日程・内容変更の 可能性有〕	順天堂大学 スポーツ健康科学部 准教授 柳谷 登志雄	健康づくり (5) 3・4年 元気コース合 同	ニュースポーツ大会	社会教育指導員
19	1.9 (木)	学習のまとめ	卒業後の健康づくり まちづくり 〔個人発表〕 〈体組成測定〉	社会教育指導員 健康増進課	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
20	1.23 (木)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす -各コース代表発表-	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	総長講話	総長
21	2.6 (木)	4コース合同 講演会	新たな出発	佐倉市 社会福祉協議会	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
22	2.8 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

## 5. コミュニティ事業

### さくら学び塾（学びあい講座） 初歩の傾聴講座技術を学ぶ

- ①開設趣旨 本講座は、市民公募による講師の企画に基づき、コミュニティ事業・さくら学び塾（学びあい講座）として開設する。
- ②募集対象、募集人員 成人 20人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月 9日（土） 10:00～16:15	演習を中心に、傾聴の初歩の技術の取得を目指した。 ○寄り添うということ・傾聴演習Ⅰ ○傾聴演習Ⅱ ○傾聴演習Ⅲ より高度な傾聴の演習を行う	学校カウンセラー・スーパーバイザー 根本 栄治

- ④講座を終えて 満足度の高い講座であり、若い方も参加もあり、継続しての開催を望む声もあった。

## 6. 団体育成事業

### 佐倉地区子ども会育成会連絡協議会

- ①開設趣旨 佐倉地区子連は、佐倉地区の子ども会及び子ども会を取り巻く諸関係機関団体との連絡・調整を図り、各単位子ども会の健全な発展に寄与することを目的として結成された。しかしながら、昨今の少子化、女性の就労に伴い、現在、佐倉地区子連は全ての子ども会が退会し、活動休止となっている。佐倉地区連の備品の貸出は事務局が対応している。

### 佐倉学体験講座

#### ～ボランティア団体派遣事業～

- ①開設趣旨 佐倉学関連事業の一環として、市内小学校、教育センター、中央公民館が連携して、子どもたちに「佐倉学」を総合的に学べる場を提供するとともに、佐倉学の普及を図るため、佐倉市民カレッジ卒業生で結成された、「語りべの会 さくらっ古」と「佐倉こどもかるた子都手留会」を市内小学校の児童を対象に派遣し、佐倉に伝わる民話の語りべの派遣や佐倉こどもかるた普及を通して、郷土愛を育むことを目的とする。
- ②対象 市内小学1年生～6年生
- ③開催期間 平成31年4月1日～令和2年3月31日
- ・さくらっ古：全9校20回 1, 137人
  - ・子都手留会：全16校 922人
- ④事業を終えて この事業は、佐倉市民カレッジ「まちづくり」の授業から発生している2団体の派遣事業である。さくらっ古は平成17年6月から、また子都手留会は平成20年6月から活動を行っており、毎年多くの小学校からの派遣依頼がある。
- 市内小学校・教育センター・中央公民館が連携して子どもたちに「佐倉学」を総合的に学ぶ場を提供するのがこの事業の趣旨であり、アンケート結果等からも、実際に佐倉に伝わる民話や佐倉こどもかるたをとおして、郷土愛を育むことの一助となっている。また、「佐倉学」について子どもたちが民話を聞いたり、かるたを使って学ぶのにより機会を提供できていることもアンケート結果から推察することもできる。
- しかしながら、派遣メンバーの高齢化も顕著であり、子都手留会は3月31日をもって解散する旨申し出があり、来年度からは、さくらっ古のみの派遣となる。

### グループ懇談会

- ①開設趣旨 中央公民館を利用しているグループに対し、公民館利用方法、公民館としての立場からグループ活動に期待する事を説明し、利用者との共通理解と連携を図る。
- ②対象 中央公民館を利用しているグループ 223団体
- ③開催期日 平成31年3月20日（水）10：00～11：30  
（日付は平成30年度であるが、内容は令和元年度（平成31年度）に向けてのもの）
- ④内容
- 1) 公民館使用方法についての説明、注意事項  
健康増進法に伴う敷地内禁煙について  
共用スペースについて  
利用の手引きについて  
提出書類について  
定期利用について
  - 2) 夏休みなんでもチャレンジ（夏休み主催事業）についての協力依頼
  - 3) 質疑応答

### 調理室利用者懇談会

- ①開設趣旨 調理室を定期利用しているグループに対し、お互いの交流の機会を作ると共に、調理室の効率的な活用と適正な運営を図る。
- ②対象 調理室を定期利用しているグループ16団体
- ③開催 1. 令和元年6月12日(水) 午前10時～11時30分  
2. 令和元年12月11日(水) 午前10時～11時30分
- ④内容 1) 調理室の清掃 2) 公民館備品の整理・点検 3) グループ備品の整理  
4) グループ間の懇談 5) 公民館への要望

### もちよりカレーの日

- ①開設趣旨 中央公民館利用者等に食材の提供を呼びかけ、もちよった食材をもとにカレーをつくり来館者に無料で提供。イベントによって公民館のPRと利用促進を図る。
- ②募集対象 公民館利用者
- ③プログラム

回	実施日(曜日)	内容	参加ボランティア
1	8月2日(月) (カレー提供時間) 11:30～13:30	公民館利用者等がもちよった食材でボランティアが調理したカレーを公民館利用者等に無料で提供 (米は危機管理室のアルファ米を使用)	佐倉東高等学校調理科生徒、公民館利用者

- ④所感 参加ボランティアの内訳は、佐倉東高等学校調理科生徒16人、公民館利用者3人。佐倉東高等学校調理科生徒が多数参加してくれたこと、また、100名を超える方が食べに来てくれたことから、市民へ中央公民館を周知する効果的なイベントになったと思われる。

## 7. 広報・展示事業

### 広報事業

#### 『公民館だよりじゅにあ』（令和元年6月14日発行）

- ①ねらい 中央公民館での子ども向け事業などを紹介する。
- ②発行回数 年1回
- ③発行部数 1, 850部
- ④配布方法 佐倉地区等の小学校4校等で配布
- ⑤内容 夏休み中の子ども向け教育事業を掲載
- ⑥展望 佐倉市の広報紙と連携をとりながら、幅広い紙面づくりに心がけたい。

#### 『中央公民館だより』

（令和元年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月開催予定だった事業が全て中止となり、発行しなかった。）

- ①ねらい 中央公民館主催事業や中央公民館の使用申込みについてなどを紹介する。
- ②発行回数 ー
- ③発行部数 ー
- ④配布方法 ー
- ⑤展望 佐倉市の広報紙と連携をとりながら、幅広い紙面づくりに心がけたい。

#### 『なかま』

- ①ねらい 市民の手による、市民の「心の交流の場」づくりをめざす。
- ②発行回数 令和元年12月号まで毎月1回（計9回）  
令和2年1月号から2か月に1回（奇数月、計2回）
- ③発行部数 毎回1, 500部  
（年間 1, 500部×11回＝16, 500部）
- ④配布方法 市内公民館・図書館・保健福祉センター・佐倉一里塚・市内各駅等で配布。  
また、編集委員による配布や市民ハイキング参加者への配布も行っている。
- ⑤編集方法 佐倉市民カレッジ生からなるボランティア編集委員30人が編集会議を、  
12月までは毎月2回、2月からは隔月で2回開催している。  
編集会議では、原稿の内容上の個々の事項についての検討とその処置、校正・割付けなどの編集作業と、年間計画やこれからの方向性などについて話し合いを行う。
- ⑥内容 A4版4ページ。令和2年1月号より見直しを行い、発行回数を上記にあるように月1回発行から奇数月隔月発行へ変更し、紙面構成を次のとおりリニューアルした。
  - ・令和元年12月号まで  
1面は編集委員の原稿、2・3面は市民の方による投稿を掲載している。4面は中央公民館の主催事業や公民館からのお知らせ、コラム的なさくら道、編集委員によるあとがきを掲載している。
  - ・令和2年1月号から  
1面は市長からの寄稿（1月号）または市民の方による投稿（他の号）、2面～3面及び4頁上2段は市民の方による投稿、4面下2段は編集委員の記事を掲載している。なお、平成20年6月には、編集会議が、(社)日本善行会から特別表彰善行賞を受賞した。

## ホームページ

- ①ねらい 中央公民館の利用案内・主催事業等を掲載し、情報を提供する。
- ②提供方法 佐倉市ホームページ  
URL : [http://www.city.sakura.lg.jp/soshiki/16-1-0-0-0\\_1.html](http://www.city.sakura.lg.jp/soshiki/16-1-0-0-0_1.html)
- ③内容 主な掲載内容は以下のとおり。
  - ・施設の利用案内
  - ・佐倉市民カレッジ等主催事業の参加者募集
  - ・各年度の『公民館のまとめ』
  - ・『なかま』『佐倉市民カレッジ情報紙「カレッジ・インフォメーション」』等、中央公民館発行の広報紙
  - ・佐倉市公民館運営審議会会議録
  - ・視聴覚教材ライブラリーの貸出・使用方法等の案内
- ④展望 市の広報紙を見る機会のない方にも、利用案内や主催事業等を、今後も継続して逐次お知らせする。また、自然災害や感染症等の影響による開館状況についても、状況の変化に応じ、より速やかに情報を更新する。

## SNS

- ①ねらい
  - 1 若年層や公民館を認知していなかった人たちに情報を届ける。
  - 2 予約不要・無料のスペースの情報を発信し、活用を図る。
  - 3 予約開始日や閉館時間などの施設情報を発信し、利用者の利便性向上を目指す。
  - 4 中央公民館を利用しているサークルの新規会員募集やイベント周知の支援を行い、中央公民館を利用する団体を増やしていく。
- ②提供方法 ツイッターとフェイスブック  
ツイッターアカウント名 : @sakura\_chuokou  
フェイスブック :  
[https://www.facebook.com/sakura.chuo.kouminkan/?modal=admin\\_todo\\_tour](https://www.facebook.com/sakura.chuo.kouminkan/?modal=admin_todo_tour)
- ③内容 投稿は、写真地短いテキスト（ツイッターでは140字以内）で作られた記事を、インターネットを使ってSNSページに投稿することにより行う。  
【主な投稿内容】
  - ・公民館のルールや部屋の紹介
  - ・主催イベントの周知、イベントの活動報告
  - ・定期利用申込受付日、2カ月前及び1か月前申し込み日、4カ月前先行予約日の周知
  - ・『なかま』等の発行物のお知らせ
  - ・当館のなかでの出来事
  - ・市民カレッジ活動紹介
- ④展望 佐倉市立中央公民館の利用者は年々減少している。その原因として、これまで公民館を利用していた方々が高齢化のため公民館での活動をやめていること、そして、当館が新しい利用者を取り込めていないことが考えられる。中央公民館の活動や施設利用の情報、利用団体の情報などをSNSにより発信し、これまで公民館を利用していなかった人に情報を届けることで、より多くの方に当館を利用してもらうことを目指す。

## 8. 視聴覚教材ライブラリー事業

### 親子映画会

- ①開設趣旨 映画を通して友達のを広げ、青少年の健全育成を図る。親子で映画を見ることで、楽しみながら映像文化に親しむ。
- ②募集対象 小学生・幼児と保護者および一般 各400人
- ③プログラム

回	実施日(曜日)	上映作品	学習内容
1	7月28日(日) 10:30~11:55	タッドの大冒険～失われたミダス王の秘宝～	子ども向け名画鑑賞を実施した。
2	8月27日(火) 10:30~11:56	グリッチ	子ども向け名画鑑賞を実施した。
3	12月21日(土) 14:30~16:00	ミニオンズ	子ども向け名画鑑賞を実施した。

- ④講座を終えて 全て中央公民館にて上映。子ども達を対象に夏休み・冬休みを利用して映画鑑賞会を3回実施した。映画を通して、子ども達に友情の大切さや、思いやりの心を育んでもらえたらと思う。また、長い休みには、子どもの居場所が心配になる保護者にとっても、この事業は安心できるような子どもの居場所になっていると思われる。

### 春の映画上映会

- ①開設趣旨 映画を通して、映像文化に親しむ。
- ②募集対象 一般 300人
- ③プログラム

回	実施日(曜日)	上映作品	事業内容
1	3月19日(木) 13:30~15:11	天国までの百マイル (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)	成人向け名画鑑賞

### 春休み16ミリアニメ上映会

- ①開設趣旨 16ミリフィルムの名作アニメを上映し、16ミリフィルムの存在を周知するとともに、幼児から成人の幅広い層に映像文化に親しんでもらう。
- ②募集対象 幼児～成人 100人
- ③プログラム

回	実施日(曜日)	上映作品	学習内容
1	3月28日(土) 10:00~12:00	・やさしいライオン ・ごんぎつね (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)	子ども向け名画鑑賞

### 佐倉市平和式典

- ①開設趣旨 佐倉市広報課主催。「佐倉市平和行政の基本に関する条例」(平和条例)に基づき、終戦の日に、正午に黙とうをして、「佐倉平和の鐘」を鳴らし、戦没者の追悼と平和を祈念する。

中央公民館からは、ライブラリー機材（音響設備）の貸出のため、職員2人が参加。

②募集対象 一般

③プログラム

回	実施日（曜日）	事業内容
1	8月15日（木） 12:00～13:00	・黙とう ・平和への誓い ・佐倉平和の鐘の鳴鐘 ・佐倉平和使節団による被爆地訪問報告

④事業を終えて 佐倉市役所にて行われた。正午の時報から1分間の黙とうをして、市長から平和への誓いの式辞があった。その後、世界の恒久平和を祈念して、佐倉平和の鐘を市長・市議会議長・遺族会代表・平和行事関係者が鳴らした。そして、市内中学生の代表により結成された佐倉平和使節団が、被爆地長崎を訪問した時の報告を行った。

多大な犠牲者を出したあの悲惨な戦争を二度と繰り返してはならない。戦争を体験し語れる人が年々減少していく中、平和式典を含めた一連の平和事業により、戦争の悲惨さを将来に渡って語り継ぎ、平和な世の中を継続していくことは非常に重要である。